

I 学生の学修時間・学習行動を把握するアンケートについて

1 アンケートの目的

学生に前期/後期の学修生活を振り返ってもらい、把握した状況をもとに教育活動の見直しに組織的に取り組むために実施する。

2 アンケートの実施概要

(1) アンケート対象学生

2024（令和6）年度の全学部・全学科

(2) アンケートの実施時期

前期：2024（令和6）年8月5日（月）～9月13日（金）

後期：2025（令和7）年1月6日（月）～2月28日（金）

(3) アンケートの実施方法

パソコン・スマートフォン等によるLCUでの回答。

(4) アンケート回答率

前期：25.4%（回答数737名／対象数2,901名）

後期：39.9%（回答数1,134名／対象数2,840名）

(5) アンケートの質問項目

質問項目は以下の28項目となっている。

問1 1週間の授業数

問2 授業への出席率

問3 出席率が9割未満であった理由（複数回答可）

問4 オンライン授業を受講した回数

問5 オンライン授業を受講した理由

問6 オンライン授業を受講して、問題点や要望

問7 自身がいつでも使用することができる情報機器（複数回答可）

問8 持っていない情報機器があれば、在学中に購入する予定

問9 1日平均の学修・勉強の時間

問10 学修・勉強の内容（複数回答可）

問11 学修・勉強場所（複数回答可）

問12 平日の睡眠時間の平均

問13 睡眠時間が6時間未満の理由(複数回答可)

問14 サークル、団体の加入(複数回答可)

問15 サークル、団体の活動時間

問16 アルバイトの有無

問17 アルバイトの時間

問18 アルバイトの目的(複数回答)

問19 好ましい資料の形式

問20 好ましい資料の形式の理由(複数回答)

問21 学生生活で、満足している項目（複数回答可）

問22 学生生活で、不満足している項目（複数回答可）

問23 一般教養について身についた程度

問24 コミュニケーションスキルについて身についた程度

問25 課題発見力について身についた程度

問26 課題解決能力について身についた程度

問27 自ら学ぶ態度について身についた程度

問28 専門知識について身についた程度

問29 専門スキルについて身についた程度

II 学生の学修時間・学修行動を把握するアンケート結果及び分析

回答者内訳

[前期]

学科	割合	回答数	学科回答率
経済	15.1%	111	17.6%
経営	24.1%	177	23.9%
社会福祉	11.3%	83	25.3%
児童	20.2%	148	28.9%
国際文化	16.6%	122	26.6%
音楽	1.9%	14	21.9%
看護	10.6%	78	51.0%
計	100%	733	25.4%

学年	割合	回答数	学年回答率
1	50.6%	371	53.9%
2	22.2%	163	20.8%
3	16.6%	122	17.7%
4	10.5%	77	10.9%
計	100%	733	25.4%

[後期]

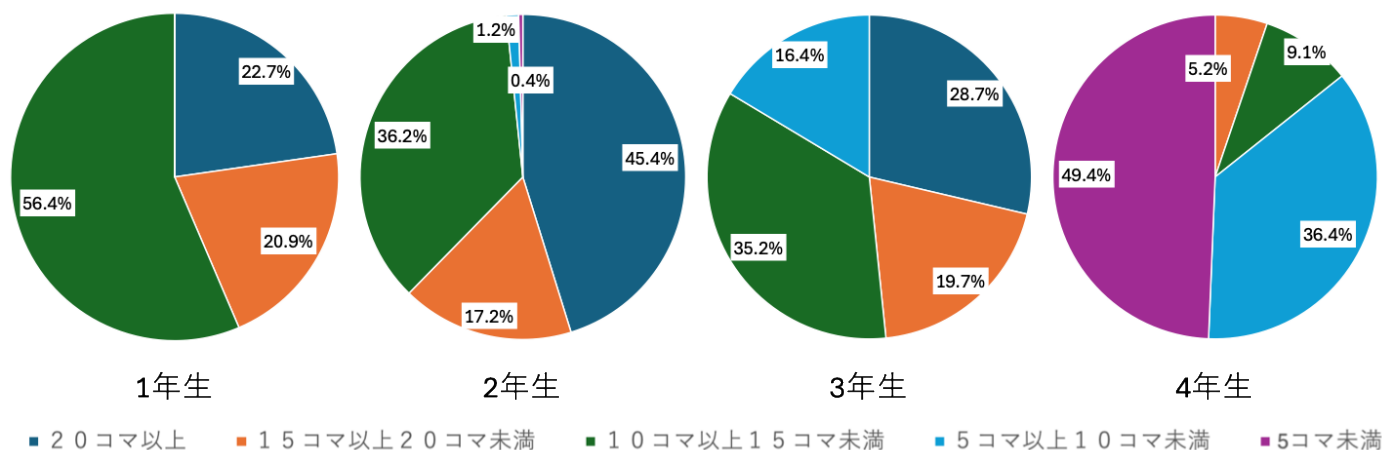
学科	割合	回答数	学科回答率
経済	20.7%	234	37.7%
経営	22.2%	251	35.7%
社会福祉	13.6%	154	47.8%
児童	20.5%	232	45.8%
国際文化	16.2%	183	41.3%
音楽	1.1%	12	19.7%
看護	5.6%	63	41.2%
計	100%	1129	39.9%

学年	割合	回答数	学科回答率
1	33.1%	374	54.5%
2	21.6%	244	32.7%
3	22.5%	254	36.7%
4	22.8%	257	37.8%
計	100%	1129	39.9%

問1 1週間の授業数

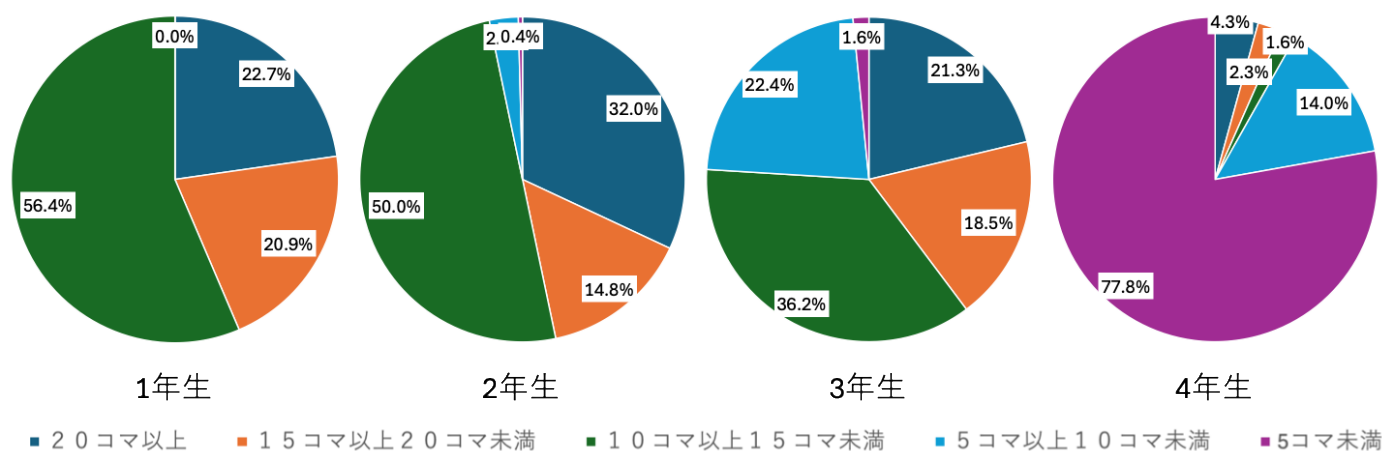
[前期]

平均授業数	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
20コマ以上	28.0%	104	45.4%	74	28.7%	35	0.0%	0
15コマ以上20コマ未満	18.1%	67	17.2%	28	19.7%	24	5.2%	4
10コマ以上15コマ未満	53.4%	198	36.2%	59	35.2%	43	9.1%	7
5コマ以上10コマ未満	0.5%	2	1.2%	2	16.4%	20	36.4%	28
5コマ未満	0.0%	0	0.4%	0	0.0%	0	49.4%	38



[後期]

平均授業数	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
20コマ以上	22.7%	85	32.0%	78	21.3%	54	4.3%	11
15コマ以上20コマ未満	20.9%	78	14.8%	36	18.5%	47	2.3%	6
10コマ以上15コマ未満	56.4%	211	50.0%	122	36.2%	92	1.6%	4
5コマ以上10コマ未満	0.0%	0	2.9%	7	22.4%	57	14.0%	36
5コマ未満	0.0%	0	0.4%	1	1.6%	4	77.8%	200

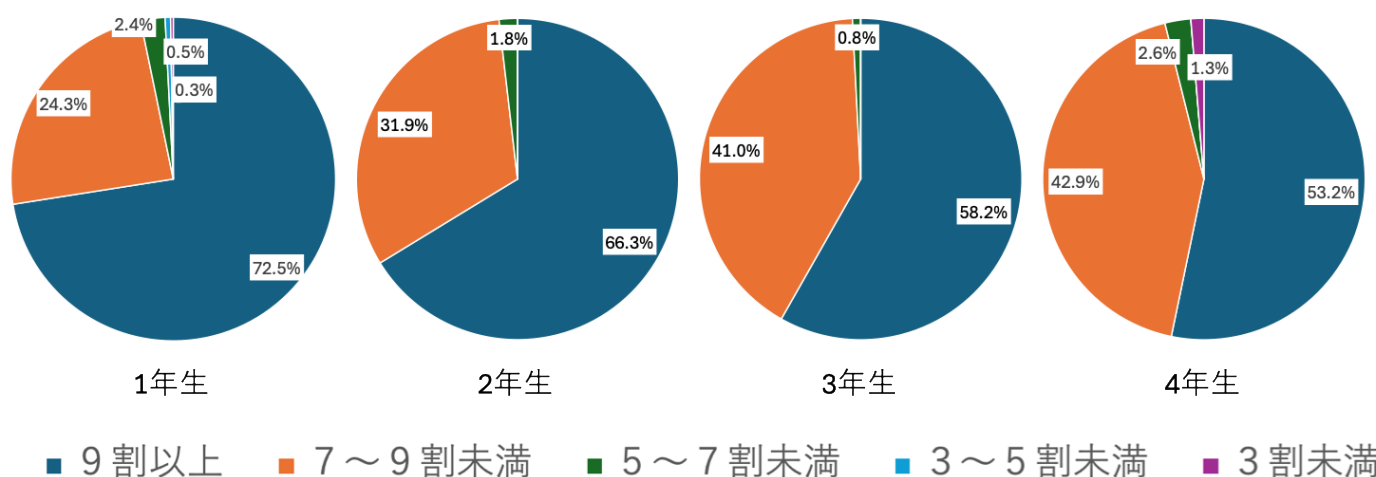


前期・後期とも、1・2年生は「10～20 コマ」の授業数が中心で、3年生は「10～15 コマ」と「5～10 コマ」に分かれていた。4年生では「5 コマ未満」が圧倒的に多く、実習や就職活動で授業数が少なかったと考えられた。前期から後期にかけて大きな変化はみられず、学年進行に伴う授業数の減少傾向が一貫していた。

問2 授業への出席率

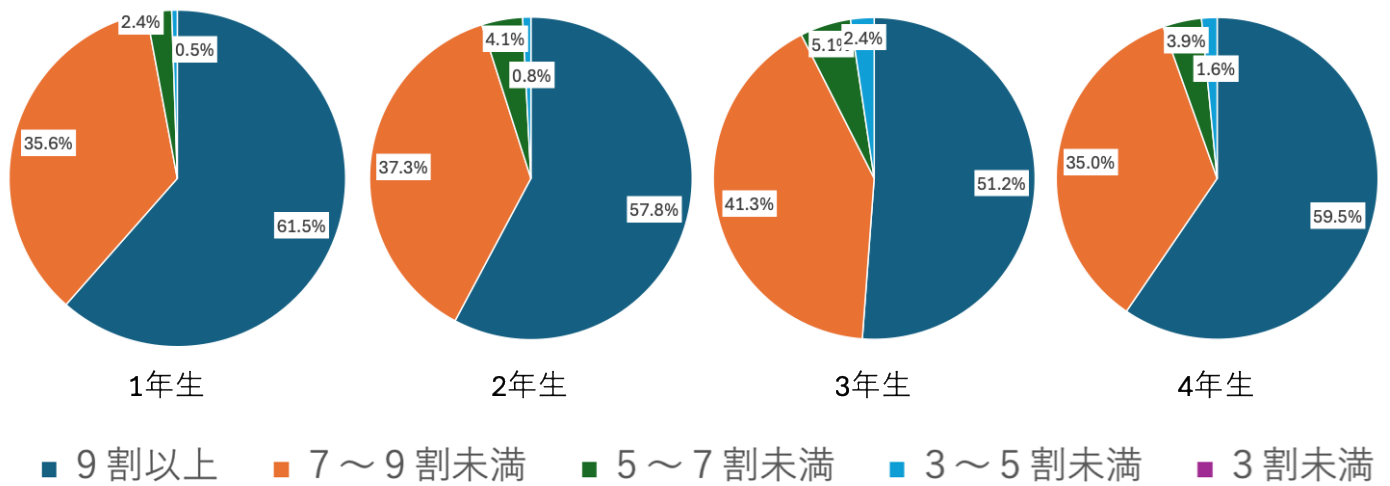
[前期]

平均授業数	1年	2年	3年	4年
9割以上	72.5%	66.3%	58.2%	53.2%
7～9割未満	24.3%	31.9%	41.0%	42.9%
5～7割未満	2.4%	1.8%	0.8%	2.6%
3～5割未満	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
3割未満	0.3%	0.0%	0.0%	1.3%



[後期]

平均授業数	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
9割以上	61.5%	230	57.8%	141	51.2%	130	59.5%	153
7～9割未満	35.6%	133	37.3%	91	41.3%	105	35.0%	90
5～7割未満	2.4%	9	4.1%	10	5.1%	13	3.9%	10
3～5割未満	0.5%	2	0.8%	2	2.4%	6	1.6%	4
3割未満	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0

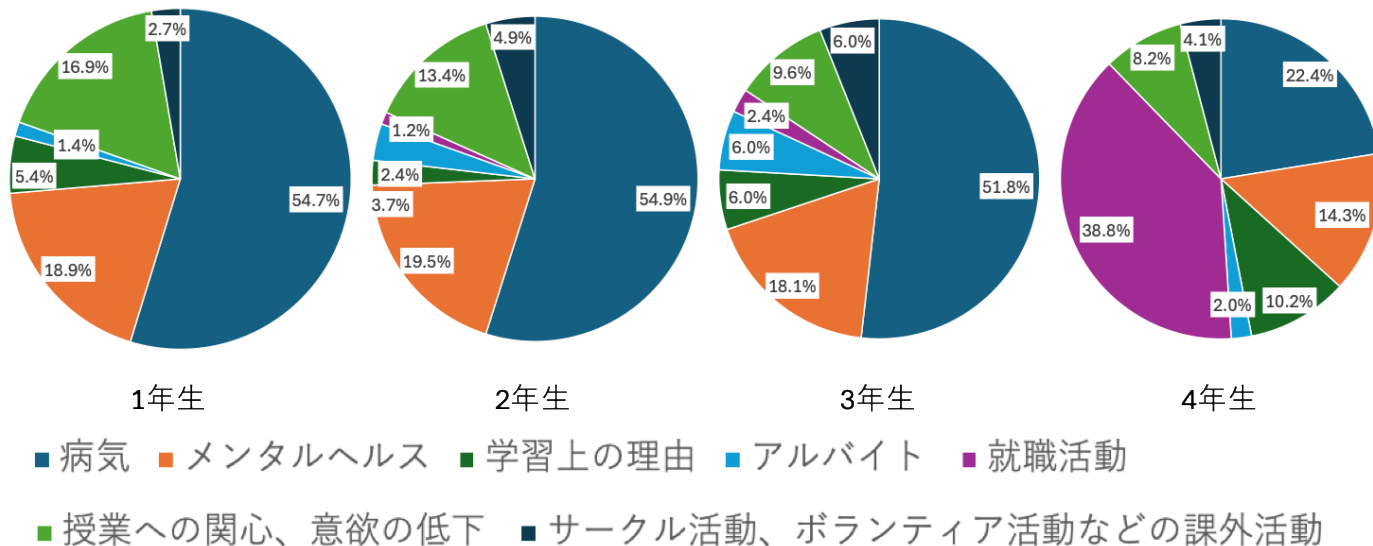


前期・後期とも、どの学年も「9割以上の出席」が最多で、次いで「7~9割未満」が続き、全体として出席率は高かった。学年が上がるにつれて9割以上の割合はやや下がり、3・4年生では「7~9割未満」が増えていたが、「5~7割未満」以下は少数にとどまっていた。後期には特に4年生で9割以上がやや減少するなど、上級生ほど出席率のばらつきが大きくなっていった。

問3 出席率が9割未満であった理由（複数回答可）

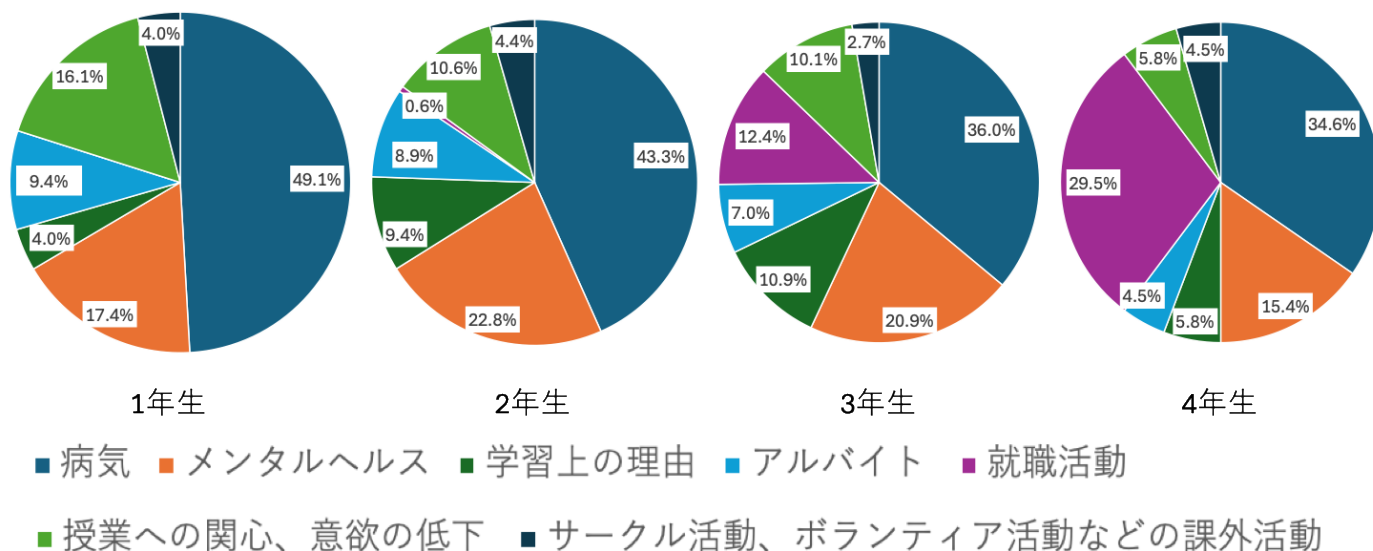
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
病気	81	54.7%	45	54.9%	43	51.8%	11	22.4%
メンタルヘルス	28	18.9%	16	19.5%	15	18.1%	7	14.3%
学習上の理由	8	5.4%	2	2.4%	5	6.0%	5	10.2%
アルバイト	2	1.4%	3	3.7%	5	6.0%	1	2.0%
就職活動	0	0.0%	1	1.2%	2	2.4%	19	38.8%
授業への関心、意欲の低下	25	16.9%	11	13.4%	8	9.6%	4	8.2%
サークル活動、ボランティア活動などの課外活動	4	2.7%	4	4.9%	5	6.0%	2	4.1%



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
病気	110	49.1%	78	43.3%	93	36.0%	54	34.6%
メンタルヘルス	39	17.4%	41	22.8%	54	20.9%	24	15.4%
学習上の理由	9	4.0%	17	9.4%	28	10.9%	9	5.8%
アルバイト	21	9.4%	16	8.9%	18	7.0%	7	4.5%
就職活動	0	0.0%	1	0.6%	32	12.4%	46	29.5%
授業への関心、意欲の低下	36	16.1%	19	10.6%	26	10.1%	9	5.8%
サークル活動、ボランティア活動などの課外活動	9	4.0%	8	4.4%	7	2.7%	7	4.5%

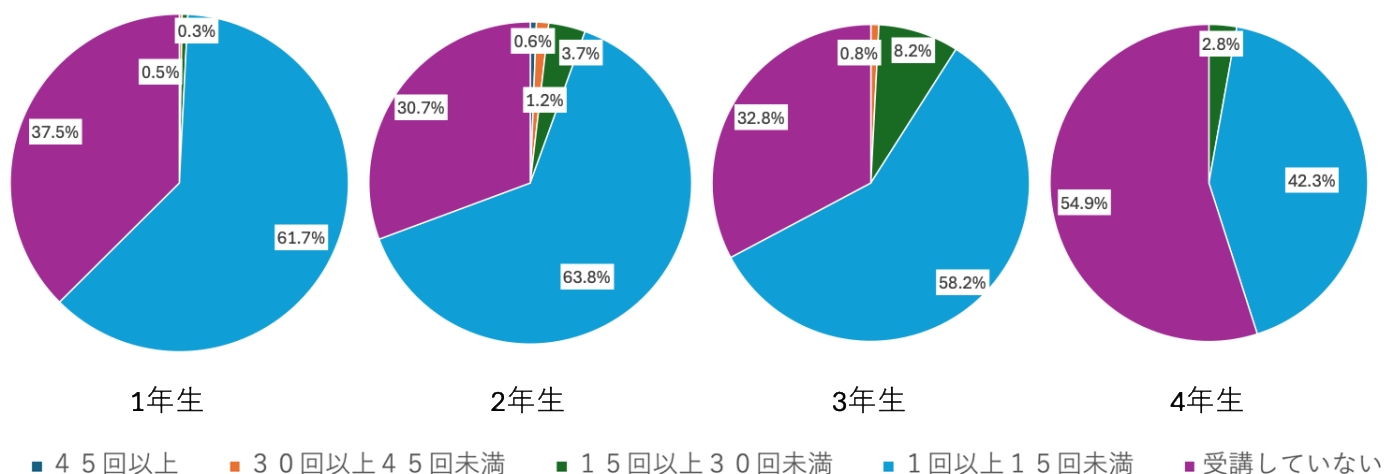


前期・後期とも最も多かった理由は「病気」で、どの学年でも半数前後を占めていた。次いで「メンタルヘルス」「授業への関心・意欲の低下」が続き、1・2年生ではメンタル面の理由も一定数みられた。3・4年生では後期になると「就職活動」を理由に挙げる割合が大きく増えており、学年が上がるにつれ欠席理由が進路関連へと移行していた。アルバイトや課外活動を理由とする回答は全体としては少数にとどまっていた。

問4 オンライン授業を受講した回数

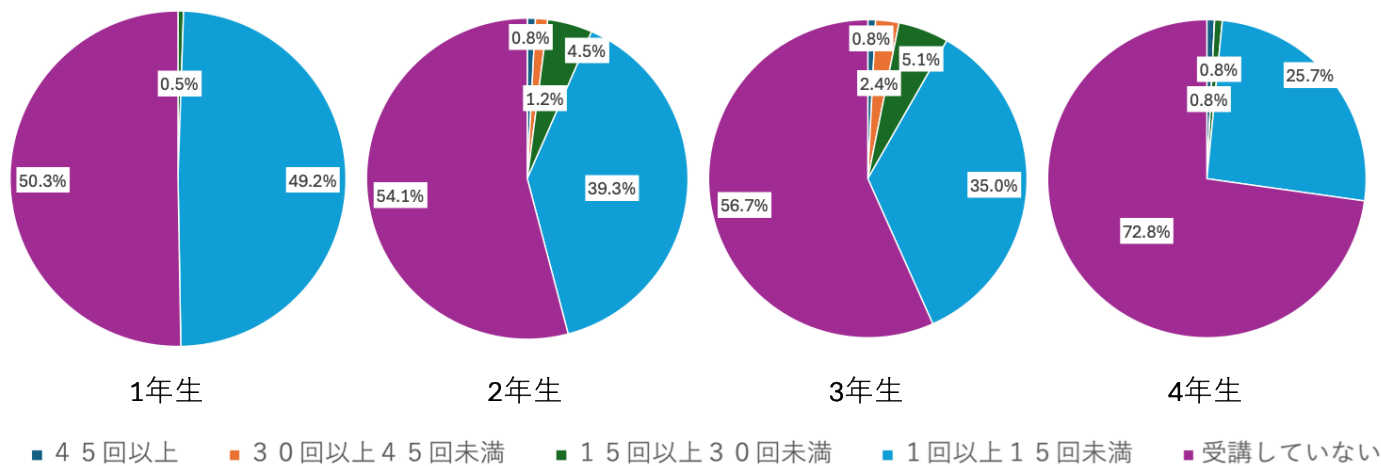
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
4 5 回以上	0.0%	0	0.6%	1	0%	0	0%	0
3 0 回以上 4 5 回未満	0.3%	1	1.2%	2	0.8%	1	0%	0
1 5 回以上 3 0 回未満	0.5%	2	3.7%	6	8.2%	10	2.8%	2
1 回以上 1 5 回未満	61.7%	229	63.8%	104	58.2%	71	42.3%	30
受講していない	37.5%	139	30.7%	50	32.8%	40	54.9%	39



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
4 5 回以上	0.0%	0	0.8%	2	0.8%	2	0.8%	2
3 0 回以上 4 5 回未満	0.0%	0	1.2%	3	2.4%	6	0.0%	0
1 5 回以上 3 0 回未満	0.5%	2	4.5%	11	5.1%	13	0.8%	2
1 回以上 1 5 回未満	49.2%	184	39.3%	96	35.0%	89	25.7%	66
受講していない	50.3%	188	54.1%	132	56.7%	144	72.8%	187

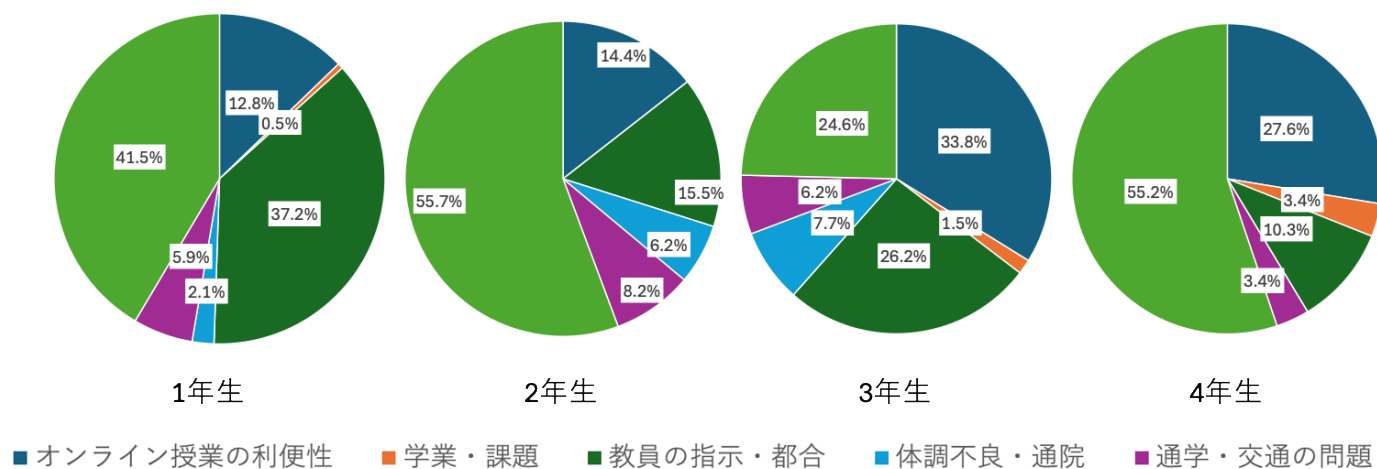


前期では、1～3年生の多くが「1～15回程度」オンライン授業を受講しており、4年生は「受講していない」がやや多かった。後期も同様に、低学年ほどオンライン授業を一定回数利用し、高学年ほど「受講していない」の割合が高かった。年間を通じて「30回以上」など頻繁にオンラインを受講していた学生はごく少数にとどまり、一部の授業でスポット的に活用していた傾向がみられた。

問5 オンライン授業を受講した理由

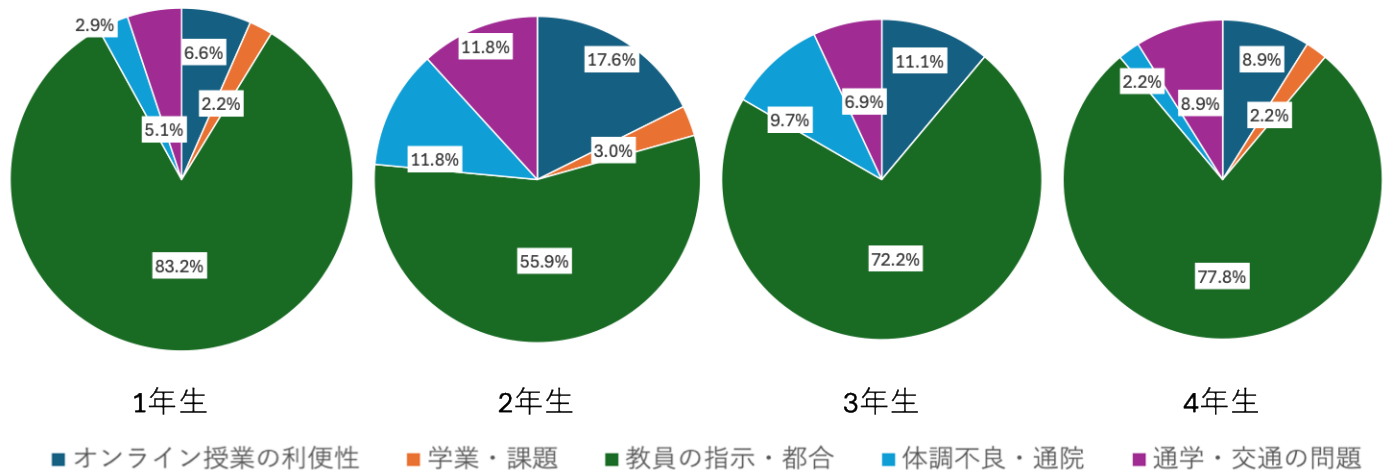
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
オンライン授業の利便性	12.8%	24	14.4%	14	33.8%	22	27.6%	8
学業・課題	0.5%	1	0.0%	0	1.5%	1	3.4%	1
教員の指示・都合	37.2%	70	15.5%	15	26.2%	17	10.3%	3
体調不良・通院	2.1%	4	6.2%	6	7.7%	5	0.0%	0
通学・交通の問題	5.9%	11	8.2%	8	6.2%	4	3.4%	1
天気の影響	41.5%	78	55.7%	54	24.6%	16	55.2%	16



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
オンライン授業の利便性	6.6%	9	17.6%	12	11.1%	8	8.9%	4
学業・課題	2.2%	3	3.0%	2	0.0%	0	2.2%	0
教員の指示・都合	83.2%	114	55.9%	38	72.2%	52	77.8%	35
体調不良・通院	2.9%	4	11.8%	8	9.7%	7	2.2%	1
通学・交通の問題	5.1%	7	11.8%	8	6.9%	5	8.9%	4

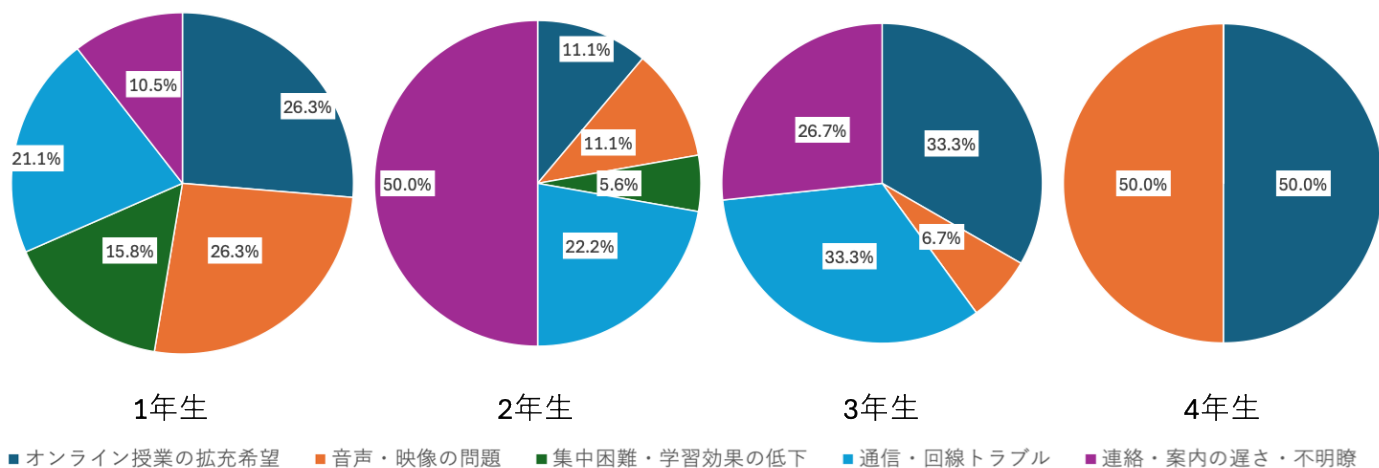


オンライン授業の理由としては、前期・後期とも「教員の指示・都合」と「天気の影響」が大きな割合を占めていた。特に1・2年生では天候に左右されやすく、悪天候時の登校負担軽減としてオンラインが利用されていた。3・4年生では「オンライン授業の利便性」を挙げる割合が高く、自分の都合に合わせて受講できる点を理由にしていた学生が多かった。学年が上がるほど、自主的な利便性の観点からオンラインを選択する傾向が強くなっていた。

問6 オンライン授業を受講して、問題点や要望

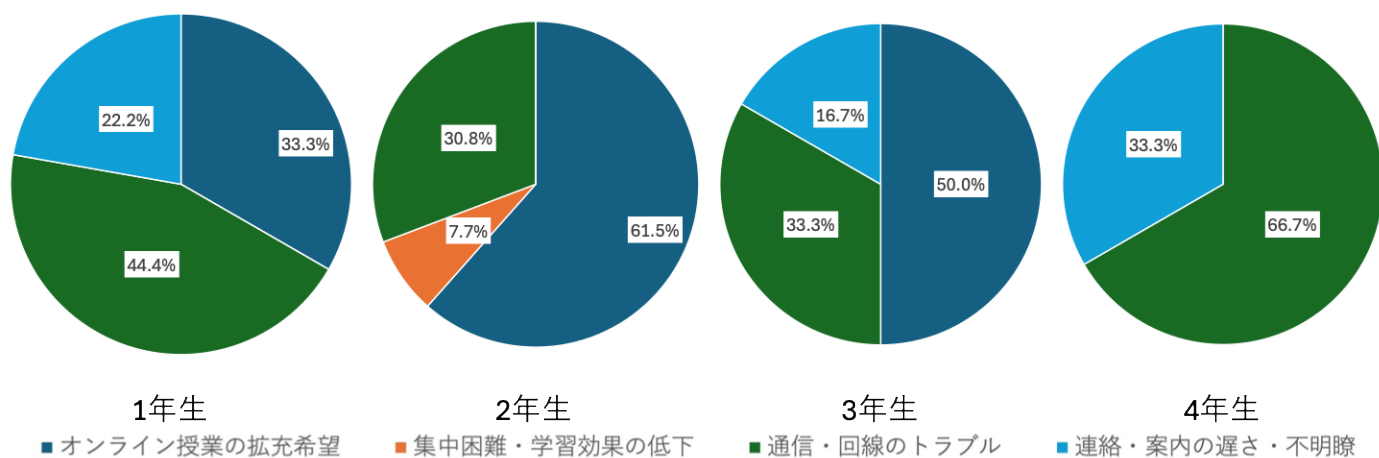
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
オンライン授業の拡充希望	26.3%	5	11.1%	2	33.3%	5	50.0%	2
音声・映像の問題	26.3%	5	11.1%	2	6.7%	1	50.0%	2
集中困難・学習効果の低下	15.8%	3	5.6%	1	0.0%	0	0.0%	0
通信・回線トラブル	21.1%	4	22.2%	4	33.3%	5	0.0%	0
連絡・案内の遅さ・不明瞭	10.5%	2	50.0%	9	26.7%	4	0.0%	0



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
オンライン授業の拡充希望	33.3%	5	61.5%	2	50.0%	5	0.0%	2
集中困難・学習効果の低下	0.0%	5	7.7%	2	0.0%	1	0.0%	2
通信・回線のトラブル	44.4%	3	30.8%	1	33.3%	0	66.7%	0
連絡・案内の遅さ・不明瞭	22.2%	4	0.0%	4	16.7%	5	33.3%	0

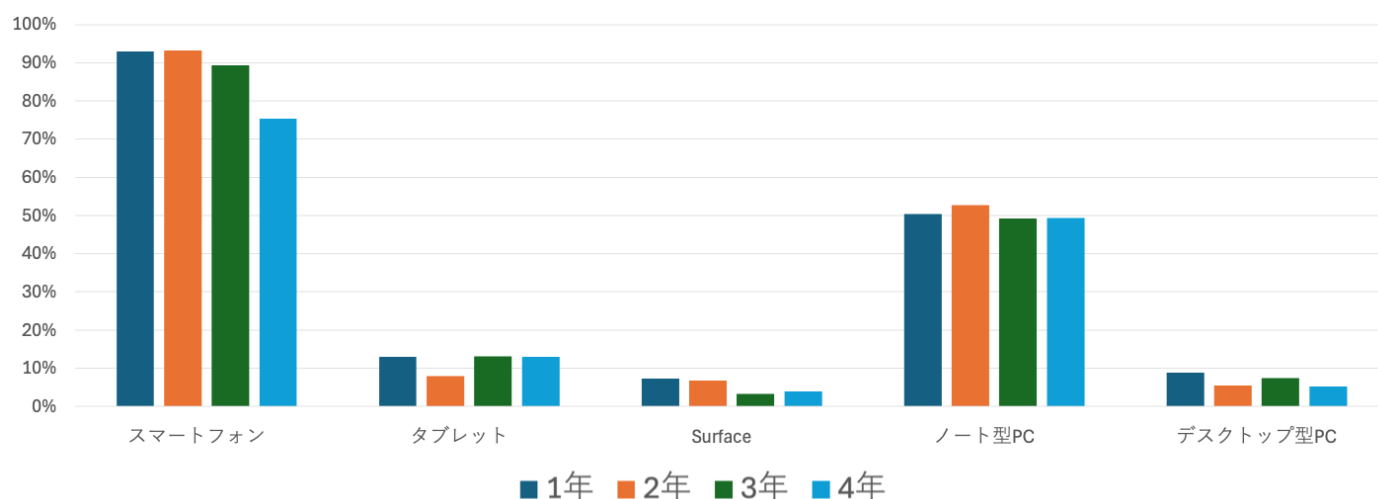


回答した学生は全体の中では一部だったが、その中での主な問題点は「通信・回線トラブル」や「音声・映像の不具合」であり、特に1・2年生で多かった。あわせて「連絡・案内が遅い・分かりにくい」といった運用面の課題も2年生で多く挙げられていた。一方、「オンライン授業の拡充を希望した」学生もあり、3・4年生では対面との併用を前提に、利便性の高い活用を求める声が目立っていた。

問7 自身がいつでも使用することができる情報機器（複数回答可）

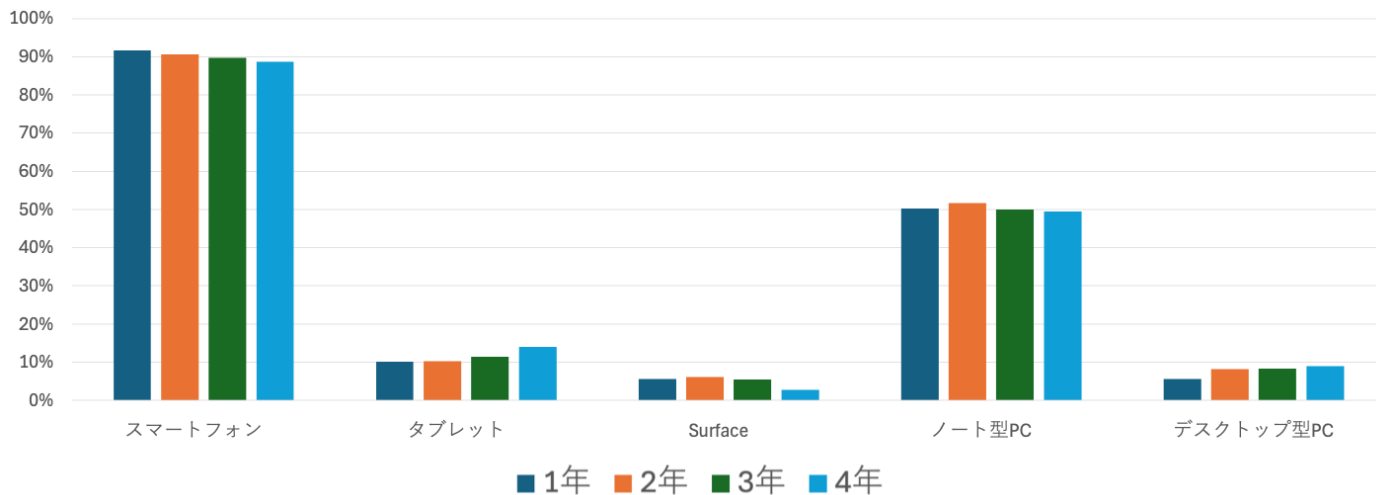
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
スマートフォン	93.0%	345	93.3%	152	89.3%	109	75.3%	58
タブレット	12.9%	48	8.0%	13	13.1%	16	13.0%	10
Surface	7.3%	27	6.7%	11	3.3%	4	3.9%	3
ノート型PC	50.4%	187	52.8%	86	49.2%	60	49.4%	38
デスクトップ型PC	8.9%	33	5.5%	9	7.4%	9	5.2%	4



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
スマートフォン	91.7%	343	90.6%	221	89.8%	228	88.7%	228
タブレット	10.2%	38	10.2%	25	11.4%	29	14.0%	36
Surface	5.6%	21	6.1%	15	5.5%	14	2.7%	7
ノート型PC	50.3%	188	51.6%	126	50.0%	127	49.4%	127
デスクトップ型PC	5.6%	21	8.2%	20	8.3%	21	8.9%	23

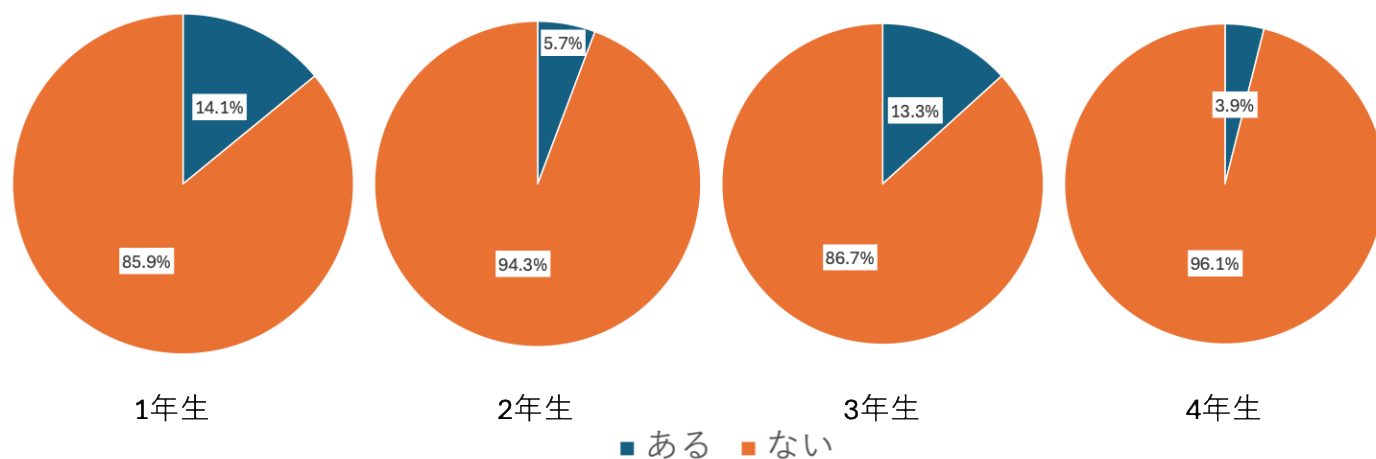


前期・後期とも「スマートフォン」をいつでも使えると答えた学生がほとんどで、1～3年生では9割以上、4年生でも約8割を占めていた。「ノートPC」は各学年で約半数が所有しており、学年差は小さかった。タブレットやSurface、デスクトップPCは1～2割程度にとどまり、少数派だった。前期から後期にかけて所有状況に大きな変化はみられず、学年を問わずスマホ+ノートPCが基本的な学修環境となっていた。

問8 持っていない情報機器があれば、在学中に購入する予定

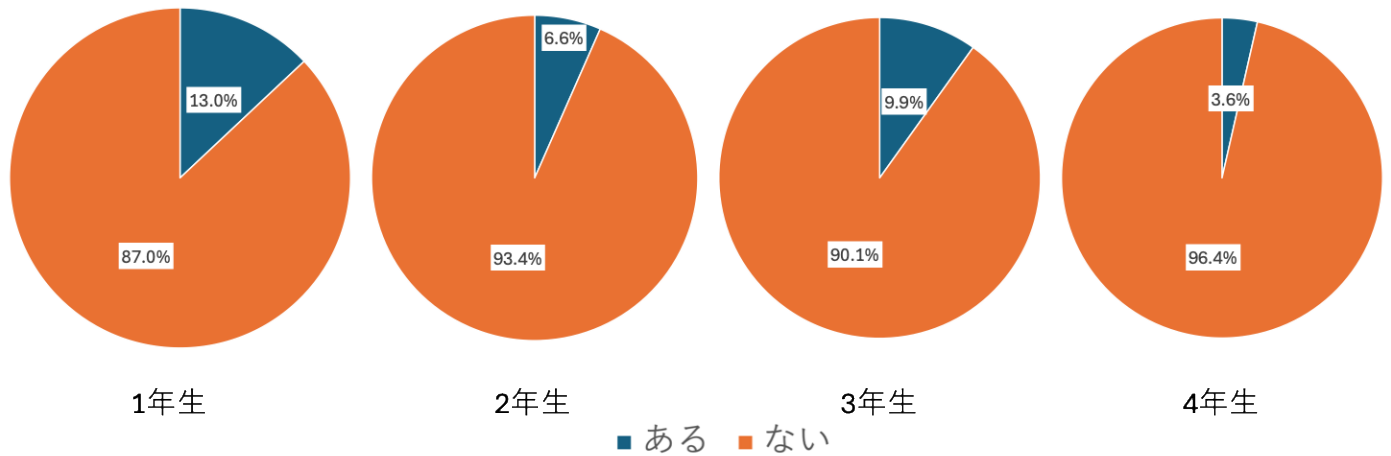
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
ある	14.1%	36	5.7%	6	13.3%	11	3.9%	2
ない	85.9%	220	94.3%	99	86.7%	72	96.1%	49



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
ある	13.0%	34	6.60%	11	9.9%	16	3.6%	6
ない	87.0%	228	93.40%	156	90.1%	146	96.4%	163

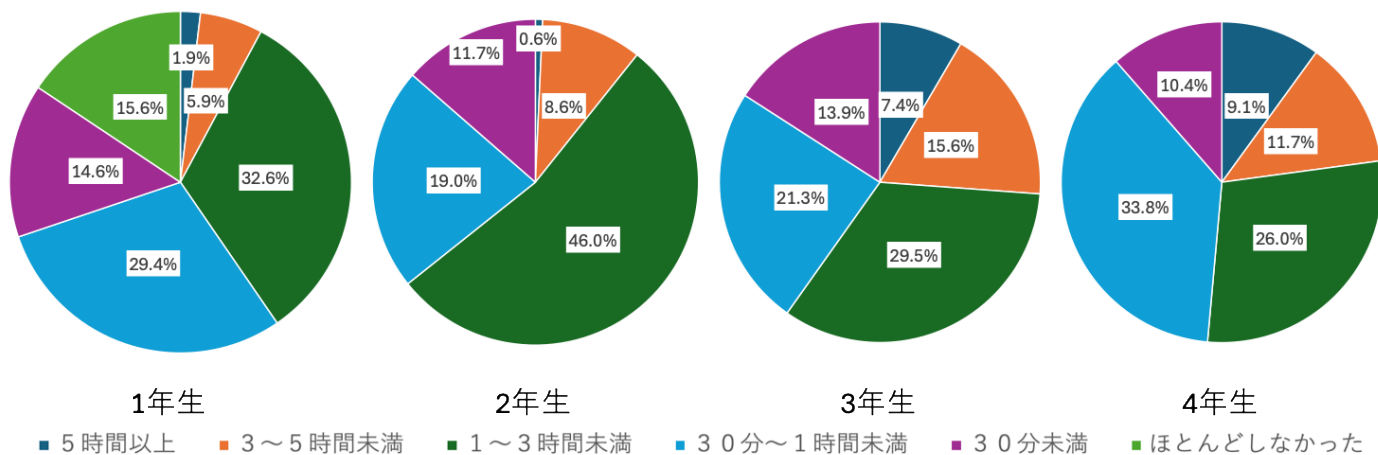


前期・後期とも、「購入予定はない」と答えた学生が9割前後を占め、多くの学生がすでに必要な機器をそろえていたと考えられた。購入予定が「ある」とした学生は1年生と3年生でやや多く、特に1年生では今後の学修に備えてPC等の購入を検討していた学生が一定数いた。2・4年生では「購入予定なし」がさらに高い割合となり、学年が上がるほど機器環境がほぼ固定していた様子が見えてきた。

問9 1日平均の学修・勉強の時間

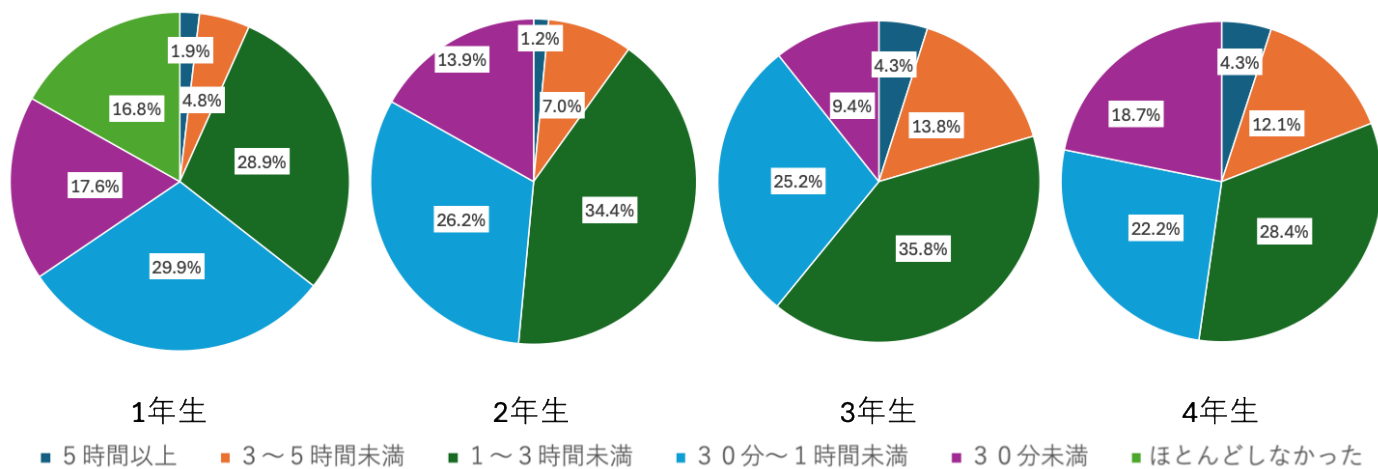
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
5時間以上	1.9%	7	0.60%	1	7.4%	9	9.1%	7
3～5時間未満	5.9%	22	8.60%	14	15.6%	19	11.7%	9
1～3時間未満	32.6%	121	46.0%	75	29.5%	36	26.0%	20
30分～1時間未満	29.4%	109	19.0%	31	21.3%	26	33.8%	26
30分未満	14.6%	54	11.7%	19	13.9%	17	10.4%	8
ほとんどしなかった	15.6%	58	14.1%	23	12.3%	15	9.1%	7



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
5時間以上	1.9%	7	1.2%	3	4.3%	11	4.3%	11
3～5時間未満	4.8%	18	7.0%	17	13.8%	35	12.1%	31
1～3時間未満	28.9%	108	34.4%	84	35.8%	91	28.4%	73
30分～1時間未満	29.9%	112	26.2%	64	25.2%	64	22.2%	57
30分未満	17.6%	66	13.9%	34	9.4%	24	18.7%	48
ほとんどしなかった	16.8%	63	17.2%	42	11.4%	29	14.4%	37

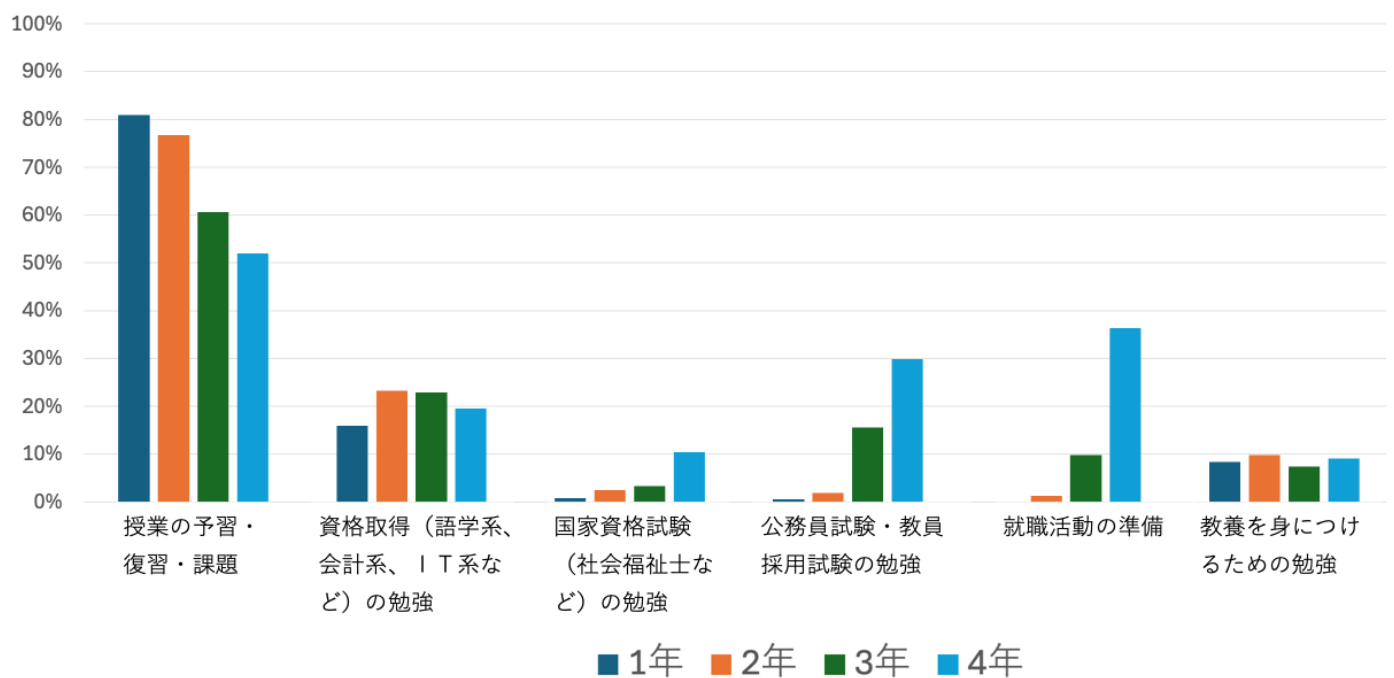


前期・後期とも、最も多かったのは「1～3時間未満」で、次いで「30分～1時間未満」が続き、全体としては短時間～中程度の学修時間が中心だった。「5時間以上」は各学年とも少数だった。後期には3年生で「1～3時間未満」「3～5時間未満」がやや増加しており、国家試験や就職準備に向けて学修時間を伸ばしていた可能性があった。1年生では「ほとんどしなかった」「30分未満」の割合も相対的に高く、学年による学修時間の差がみられていた。

問 10 学修・勉強の内容（複数回答可）

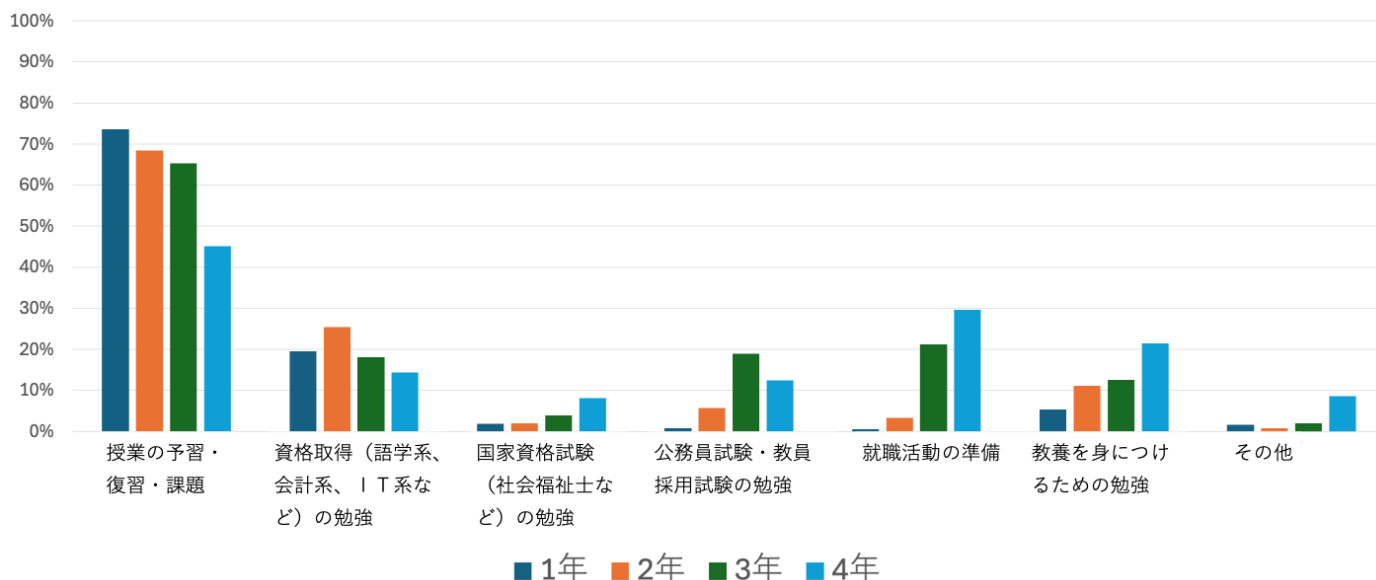
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
授業の予習・復習・課題	80.9%	300	76.7%	125	60.7%	74	51.9%	40
資格取得（語学系、会計系、IT系など）の勉強	15.9%	59	23.3%	38	23.0%	28	19.5%	15
国家資格試験（社会福祉士など）の勉強	0.8%	3	2.5%	4	3.3%	4	10.4%	8
公務員試験・教員採用試験の勉強	0.5%	2	1.8%	3	15.6%	19	29.9%	23
就職活動の準備	0.0%	0	1.2%	2	9.8%	12	36.4%	28
教養を身につけるための勉強	8.4%	31	9.8%	16	7.4%	9	9.1%	7



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
授業の予習・復習・課題	73.5%	275	68.4%	167	65.4%	166	45.1%	116
資格取得（語学系、会計系、IT系など）の勉強	19.5%	73	25.4%	62	18.1%	46	14.4%	37
国家資格試験（社会福祉士など）の勉強	1.9%	7	2.0%	5	3.9%	10	8.2%	21
公務員試験・教員採用試験の勉強	0.8%	3	5.7%	14	18.9%	48	12.5%	32
就職活動の準備	0.5%	2	3.3%	8	21.3%	54	29.6%	76
教養を身につけるための勉強	5.3%	20	11.1%	27	12.6%	32	21.4%	55
その他	1.6%	6	0.8%	2	2.0%	5	8.6%	22

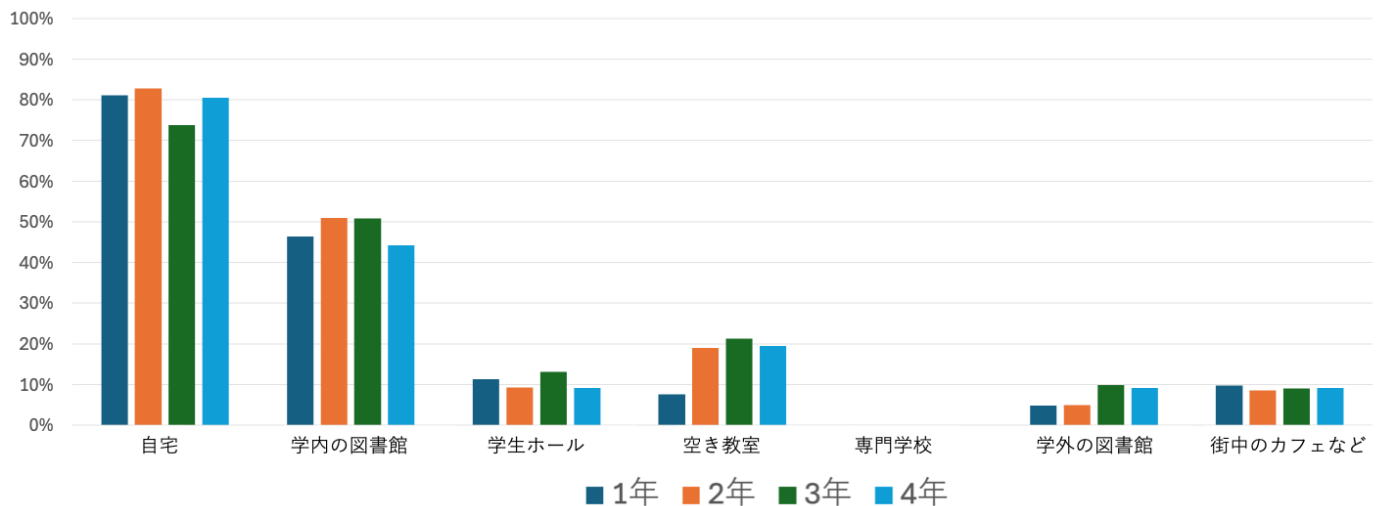


前期・後期とも、全学年で「授業の予習・復習・課題」が最も多く、特に1・2年生では8割前後が回答していた。学年が上がるにつれ、資格取得（語学・会計・ITなど）や国家資格試験、公務員試験・教員採用試験の勉強を挙げる学生が増えていた。4年生では「就職活動の準備」が他学年より高く、学年進行に伴い学修内容が授業中心から資格・就職準備へと移行していた。教養を身につけるための勉強は、どの学年でも一部で行われていた。

問 11 学修・勉強場所（複数回答可）

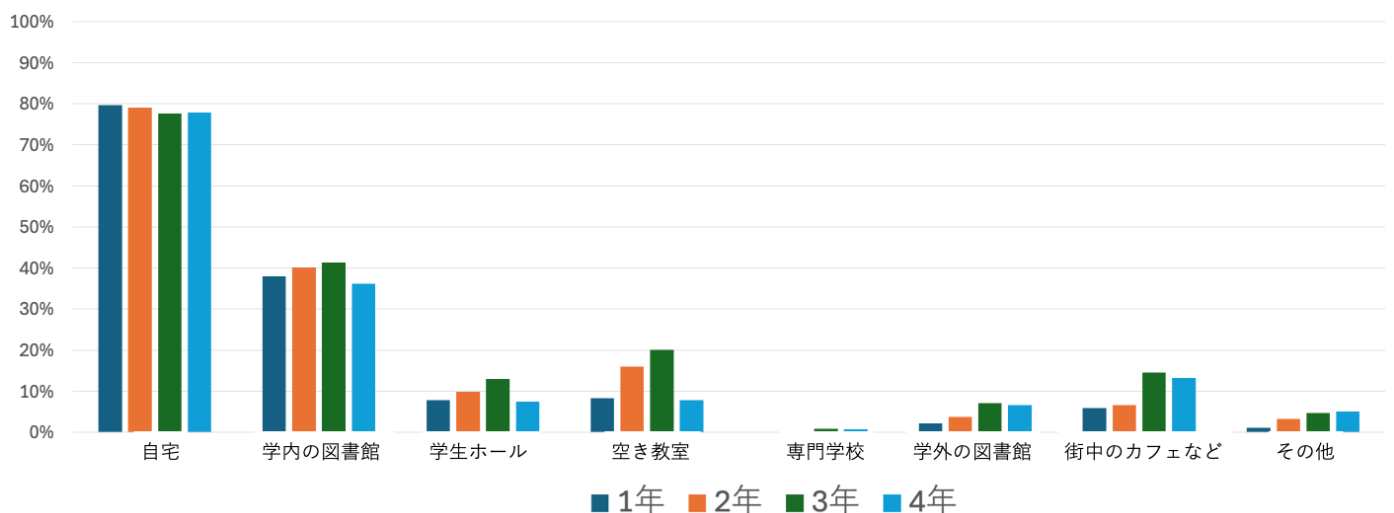
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
自宅	81.1%	301	82.8%	135	73.8%	90	80.5%	62
学内の図書館	46.4%	172	50.9%	83	50.8%	62	44.2%	34
学生ホール	11.3%	42	9.2%	15	13.1%	16	9.1%	7
空き教室	7.5%	28	19.0%	31	21.3%	26	19.5%	15
専門学校	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
学外の図書館	4.9%	18	4.9%	8	9.8%	12	9.1%	7
街中のカフェなど	9.7%	36	8.60%	14	9.0%	11	9.1%	7



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
自宅	79.7%	298	79.1%	193	77.6%	197	77.8%	200
学内の図書館	38.0%	142	40.2%	98	41.3%	105	36.2%	93
学生ホール	7.8%	29	9.8%	24	13.0%	33	7.4%	19
空き教室	8.3%	31	16.0%	39	20.1%	51	7.8%	20
専門学校	0.0%	0	0.0%	0	0.8%	2	0.8%	2
学外の図書館	2.1%	8	3.7%	9	7.1%	18	6.6%	17
街中のカフェなど	5.9%	22	6.6%	16	14.6%	37	13.2%	34
その他	1.1%	4	3.3%	8	4.7%	12	5.1%	13

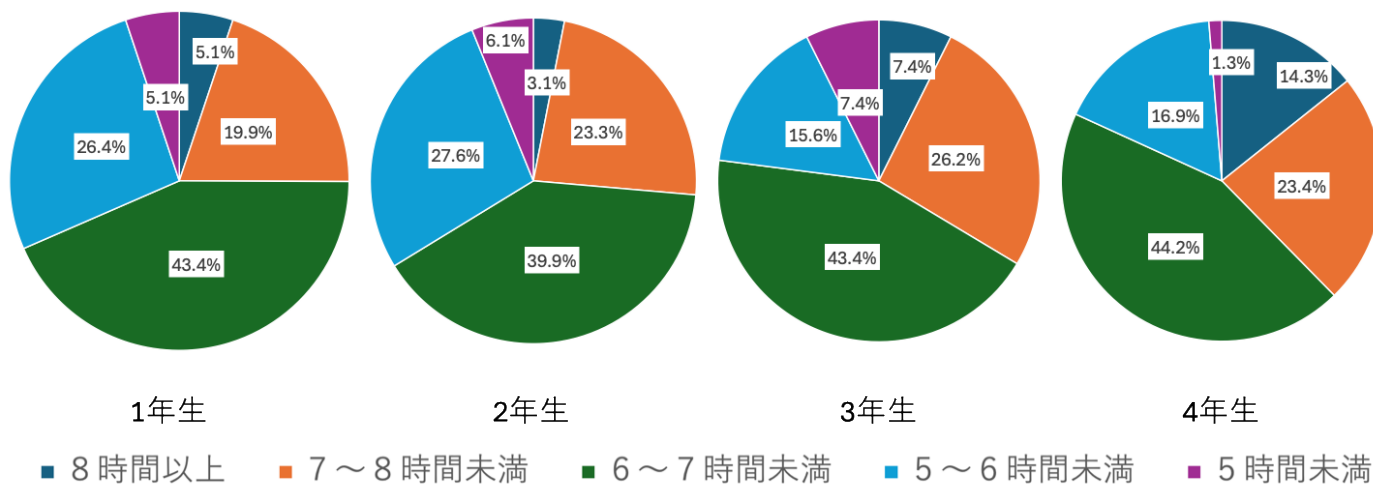


「自宅」で勉強すると答えた学生が最も多く、どの学年でも7～8割前後を占めていた。一方で「学内の図書館」も2番目に多く、特に2・3年生で利用率が高かった。3・4年生になると「空き教室」や「街中のカフェ」など学外・学内の多様な場所を併用する傾向が強まっていた。前期・後期で大きな変化はみられなかったが、4年生では自宅学習の割合がやや高く、就職活動等との両立を図りながら柔軟に学習場所を選択していたと考えられた。

問 12 平日の睡眠時間の平均

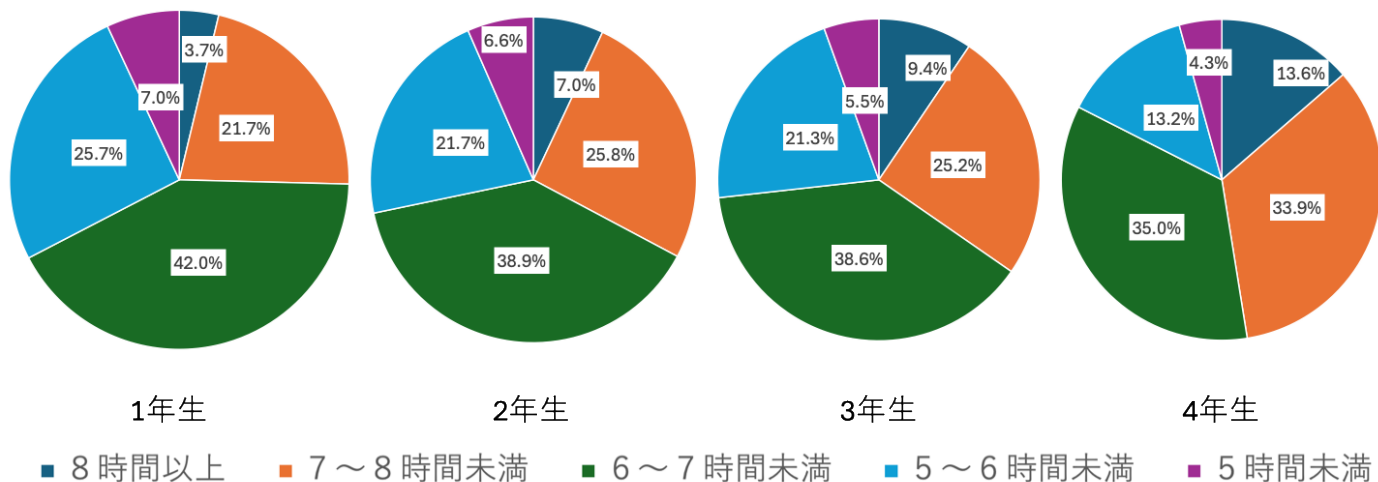
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
8時間以上	5.1%	19	3.1%	5	7.4%	9	14.3%	11
7～8時間未満	19.9%	74	23.3%	38	26.2%	32	23.4%	18
6～7時間未満	43.4%	161	39.9%	65	43.4%	53	44.2%	34
5～6時間未満	26.4%	98	27.6%	45	15.6%	19	16.9%	13
5時間未満	5.1%	19	6.1%	10	7.4%	9	1.3%	1



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
8時間以上	3.7%	14	7.0%	17	9.4%	24	13.6%	35
7～8時間未満	21.7%	81	25.8%	63	25.2%	64	33.9%	87
6～7時間未満	42.0%	157	38.9%	95	38.6%	98	35.0%	90
5～6時間未満	25.7%	96	21.7%	53	21.3%	54	13.2%	34
5時間未満	7.0%	26	6.6%	16	5.5%	14	4.3%	11

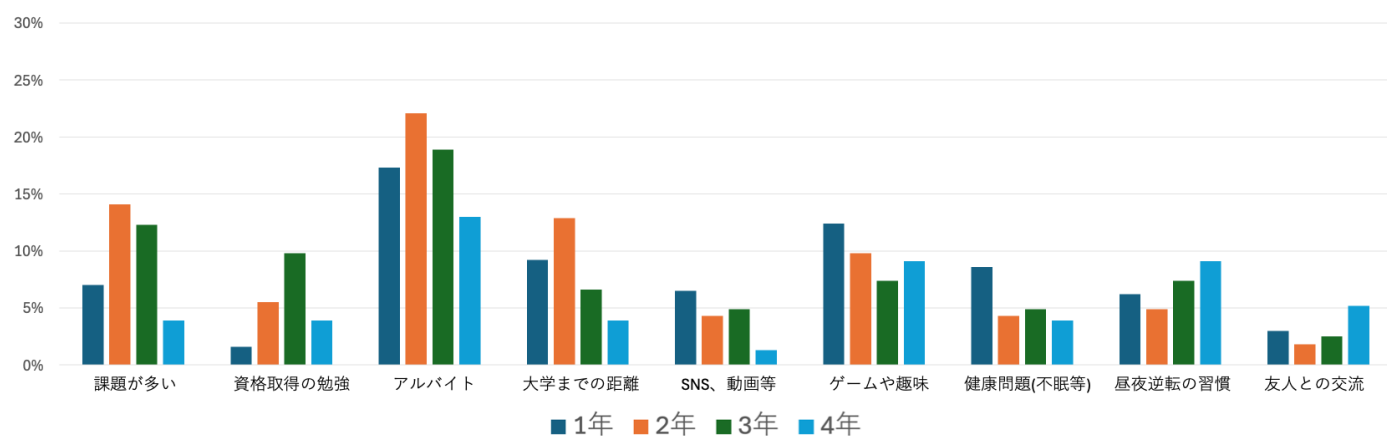


平日の睡眠時間は、前期・後期とも「6～7時間」「7～8時間」と答えた学生が中心で、「5時間未満」や「9時間以上」は少数だった。学年別には大きな偏りは見られなかったが、1年生ではやや短めの睡眠、4年生ではやや長めの睡眠をとっている学生も一定数いた。全体としては、授業やアルバイト、通学時間等の生活リズムの中で、標準的な睡眠時間帯に収まっている学生が多かったと考えられた。

問 13 睡眠時間が6時間未満の理由(複数回答可)

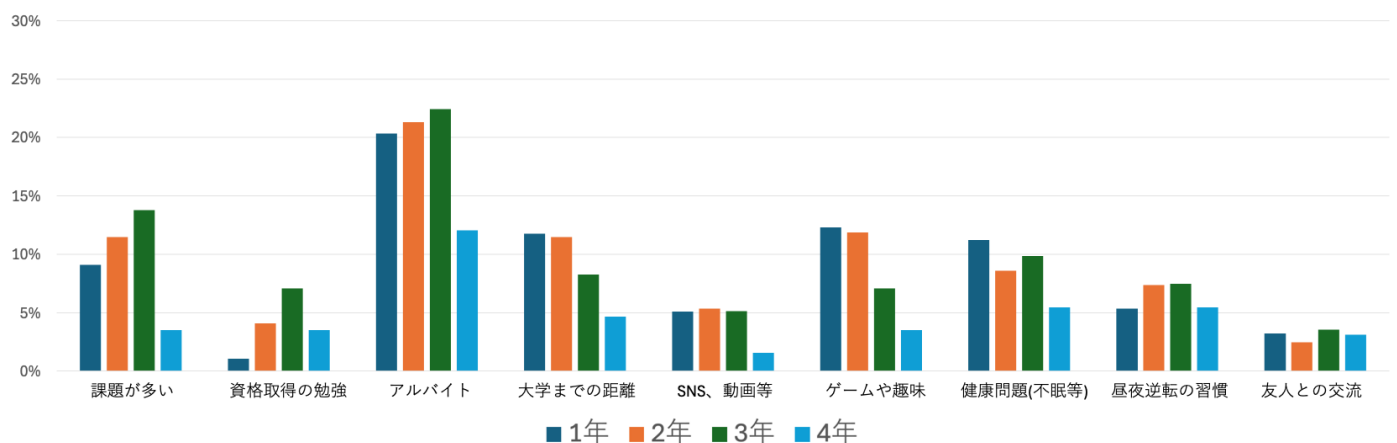
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
課題が多い	7.0%	26	14.1%	23	12.3%	15	3.9%	3
資格取得の勉強	1.6%	6	5.5%	9	9.8%	12	3.9%	3
アルバイト	17.3%	64	22.1%	36	18.9%	23	13.0%	10
大学から家までの距離	9.2%	34	12.9%	21	6.6%	8	3.9%	3
友人との交流	6.5%	24	4.3%	7	4.9%	6	1.3%	1
SNS、動画、テレビ	12.4%	46	9.8%	16	7.4%	9	9.1%	7
ゲームや趣味	8.6%	32	4.3%	7	4.9%	6	3.9%	3
健康問題(例：不眠症、寝つきが悪い)	6.2%	23	4.9%	8	7.4%	9	9.1%	7
昼夜逆転の習慣	3.00%	11	1.80%	3	2.50%	3	5.20%	4



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
課題が多い	9.1%	34	11.5%	28	13.8%	35	3.5%	9
資格取得の勉強	1.1%	4	4.1%	10	7.1%	18	3.5%	9
アルバイト	20.3%	76	21.3%	52	22.4%	57	12.1%	31
大学から家までの距離	11.8%	44	11.5%	28	8.3%	21	4.7%	12
友人との交流	5.1%	19	5.3%	13	5.1%	13	1.6%	4
SNS、動画、テレビ	12.3%	46	11.9%	29	7.1%	18	3.5%	9
ゲームや趣味	11.2%	42	8.6%	21	9.8%	25	5.4%	14
健康問題（例：不眠症、寝つきが悪い）	5.3%	20	7.4%	18	7.5%	19	5.4%	14
昼夜逆転の習慣	3.20%	12	2.50%	6	3.50%	9	3.10%	8

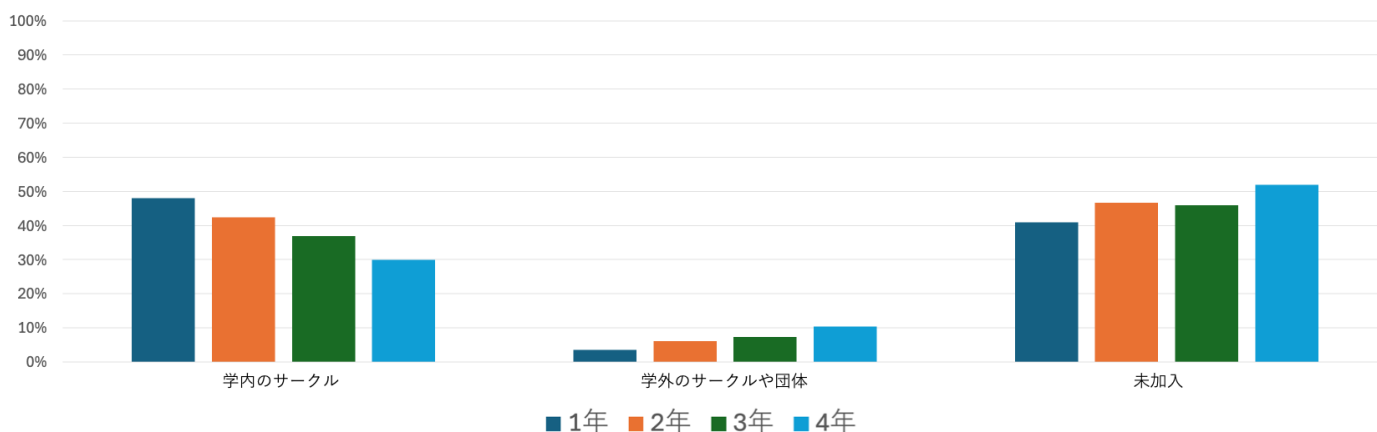


6時間未満の睡眠となった理由として、「授業の課題・レポート」「試験勉強」など学業に関連するものが多く挙げられていた。1・2年生では「スマートフォンや動画視聴で夜更かしした」といった生活習慣による理由も目立っていた。3・4年生では、学業に加えて「アルバイト」「通学時間の長さ」など、生活全体の負担に起因する回答が増えていた。前期・後期とも、睡眠不足には学業・アルバイト・メディア利用が複合的に影響していた様子がうかがわれた。

問 14 サークル、団体の加入(複数回答可)

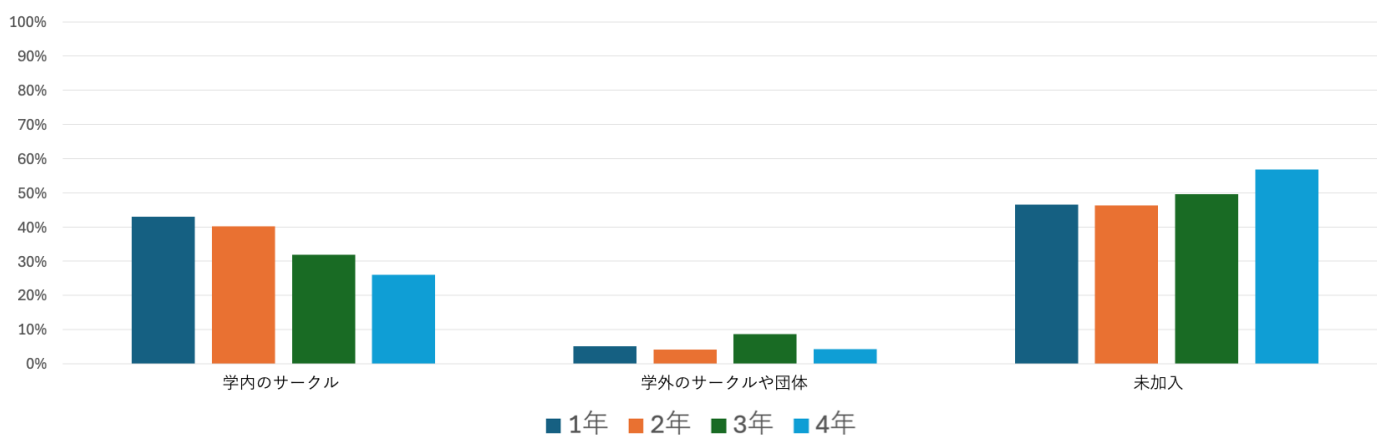
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
学内のサークル	48.0%	178	42.3%	69	36.9%	45	29.9%	23
学外のサークルや団体	3.5%	13	6.1%	10	7.4%	9	10.4%	8
未加入	41.0%	152	46.6%	76	45.9%	56	51.9%	40



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
学内のサークル	43.0%	161	40.2%	98	31.9%	81	26.1%	67
学外のサークルや団体	5.1%	19	4.1%	10	8.7%	22	4.3%	11
未加入	46.5%	174	46.3%	113	49.6%	126	56.8%	146

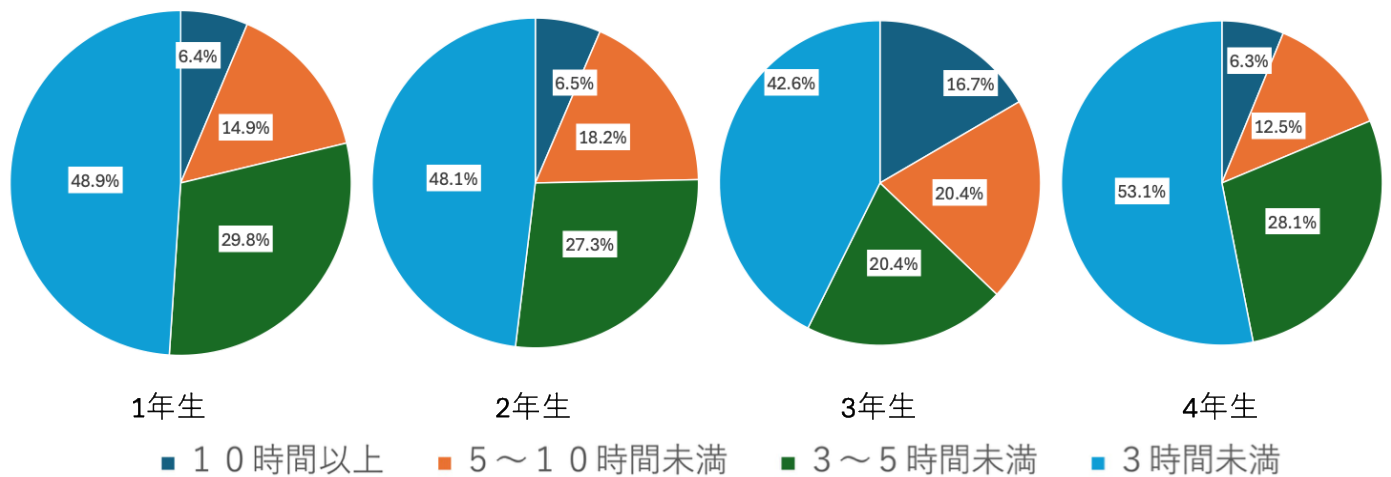


前期・後期とも、「どのサークル・団体にも所属していない」学生が一定数おり、加入率は必ずしも高くなかった。加入している場合は「1つのサークル・団体」に所属する学生が中心で、「複数所属」は少数だった。1年生では加入率が相対的に高く、2~4年生になるにつれ、非加入の割合が増えていた。学年が上がると授業・アルバイト・実習などとの両立が課題となり、サークル活動に時間を割けなくなっていた可能性が示唆されていた。

問 15 サークル、団体の活動時間

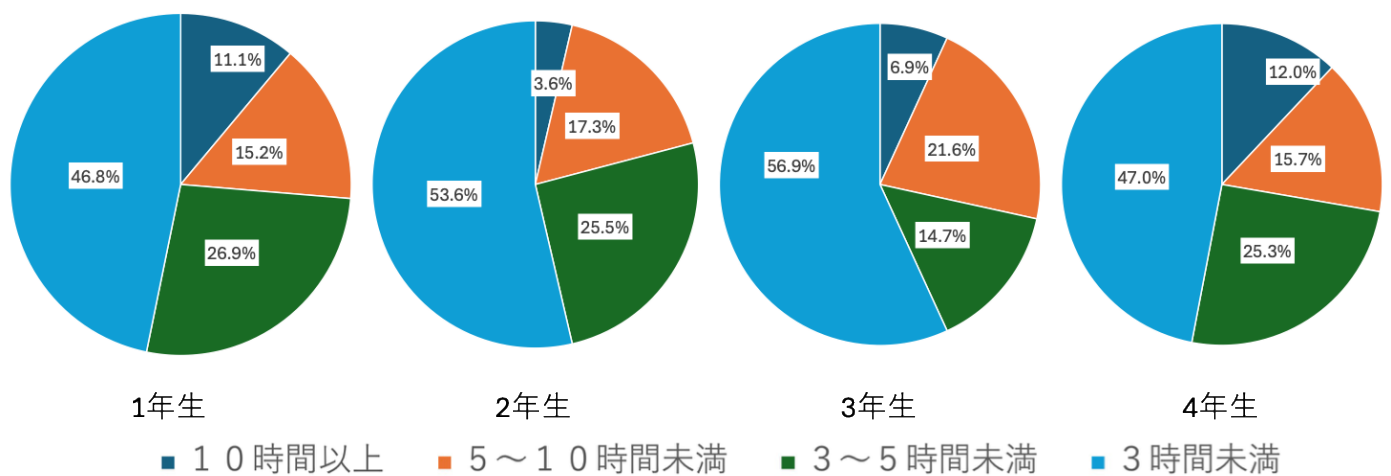
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
10時間以上	6.4%	12	6.5%	5	16.7%	9	6.3%	2
5～10時間未満	14.9%	28	18.2%	14	20.4%	11	12.5%	4
3～5時間未満	29.8%	56	27.3%	21	20.4%	11	28.1%	9
3時間未満	48.9%	92	48.1%	37	42.6%	23	53.1%	17



[後期]

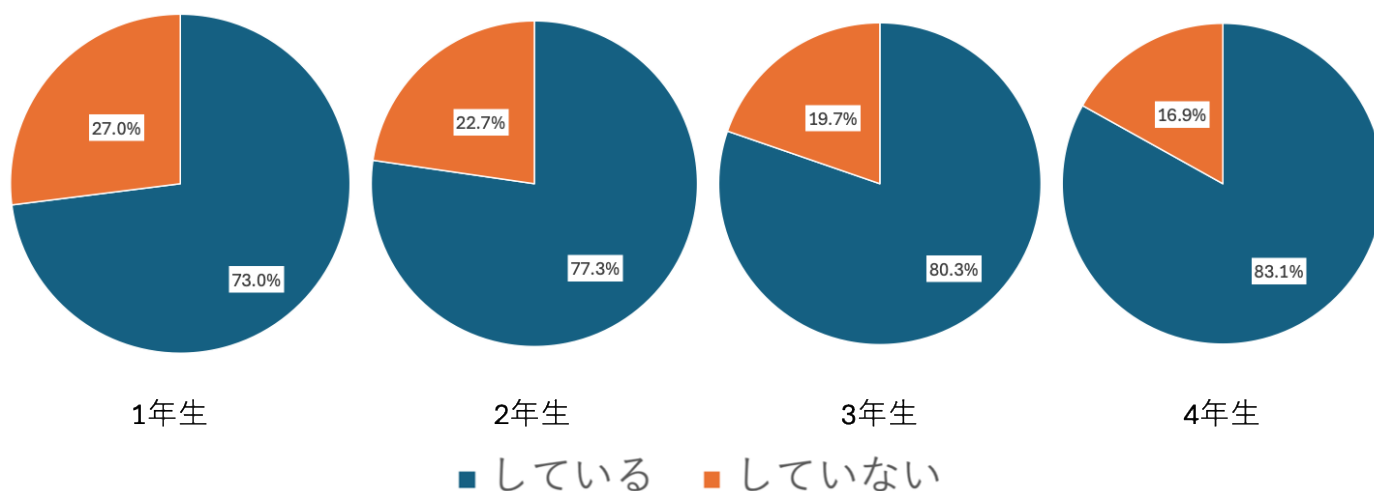
	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
10時間以上	11.1%	19	3.6%	4	6.9%	7	12.0%	10
5～10時間未満	15.2%	26	17.3%	19	21.6%	22	15.7%	13
3～5時間未満	26.9%	46	25.5%	28	14.7%	15	25.3%	21
3時間未満	46.8%	80	53.6%	59	56.9%	58	47.0%	39



サークル・団体に所属している学生の活動時間は、前期・後期とも「週1～3時間程度」が中心で、「ほとんど活動していない」または「週5時間以上」は少数だった。1・2年生では比較的活動時間が長い学生もいた一方、3・4年生では活動時間が短くなる傾向がみられていた。後期には、テストや実習、就職活動の影響から、活動時間を減らした学生もいたと考えられた。全体として学業・バイトとのバランスを取りながら活動していた様子うかがわれた。

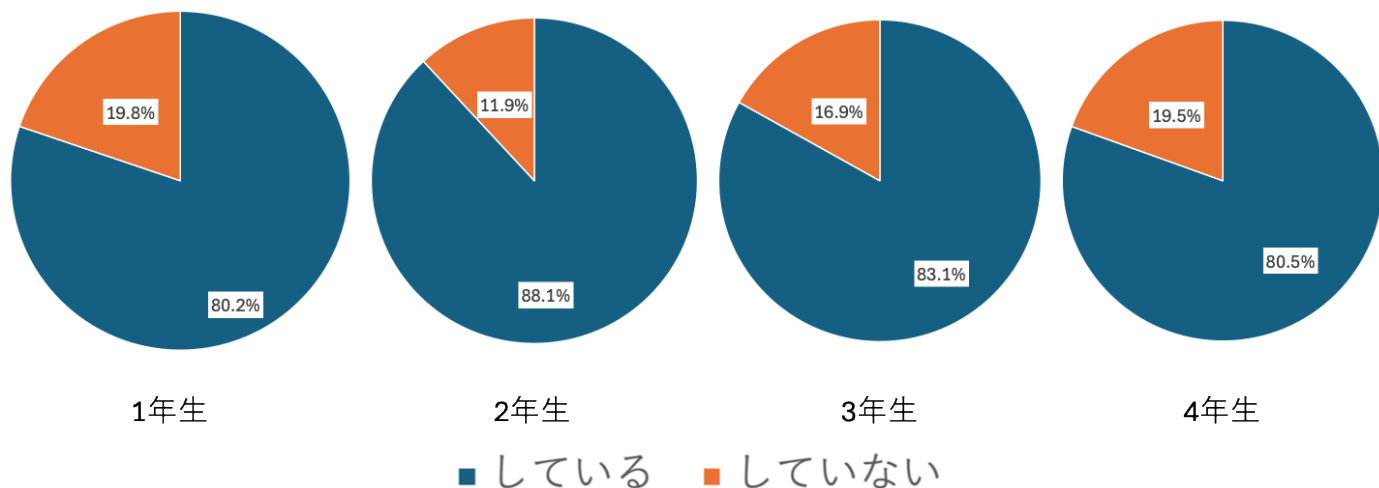
問16 アルバイトの有無

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
している	73.0%	271	77.3%	126	80.3%	98	83.1%	64
していない	27.0%	100	22.7%	37	19.7%	24	16.9%	13



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
している	80.2%	300	88.1%	215	83.1%	211	80.5%	207
していない	19.8%	74	11.9%	29	16.9%	43	19.5%	50

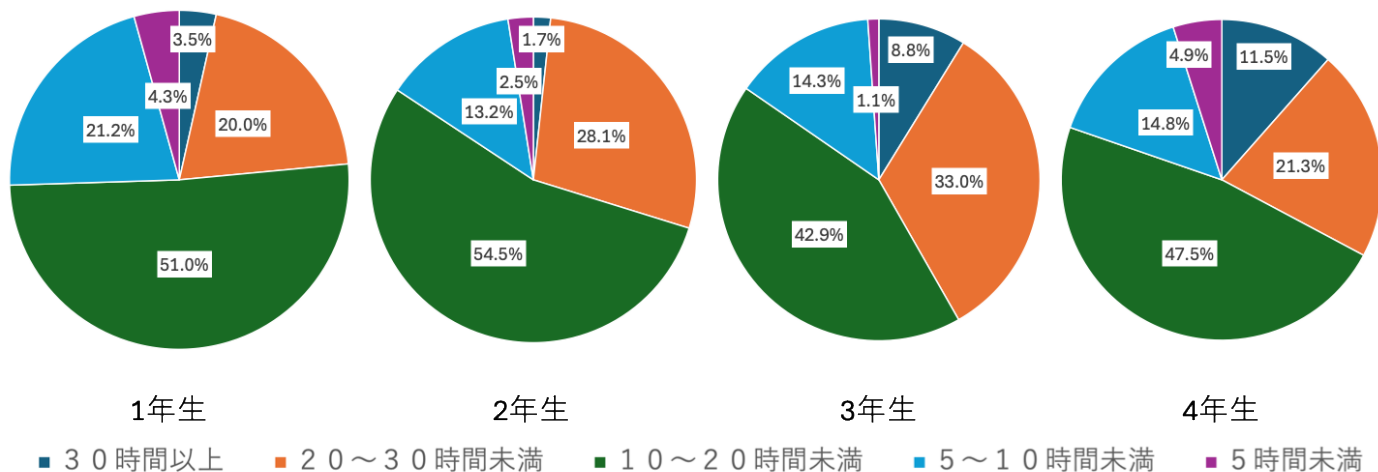


前期・後期とも、全体の半数以上が何らかのアルバイトをしていた。1年生では「アルバイトをしていない」割合も比較的高かったが、2～3年生でアルバイト経験が増え、4年生でも継続して働いている学生が多かった。学年が上がるほど、学費や生活費、将来のための貯蓄などを理由に働く傾向が強まっていたと考えられた。大きな年度差はみられず、多くの学生が学業とアルバイトを並行していた状況が続いていた。

問 17 アルバイトの時間

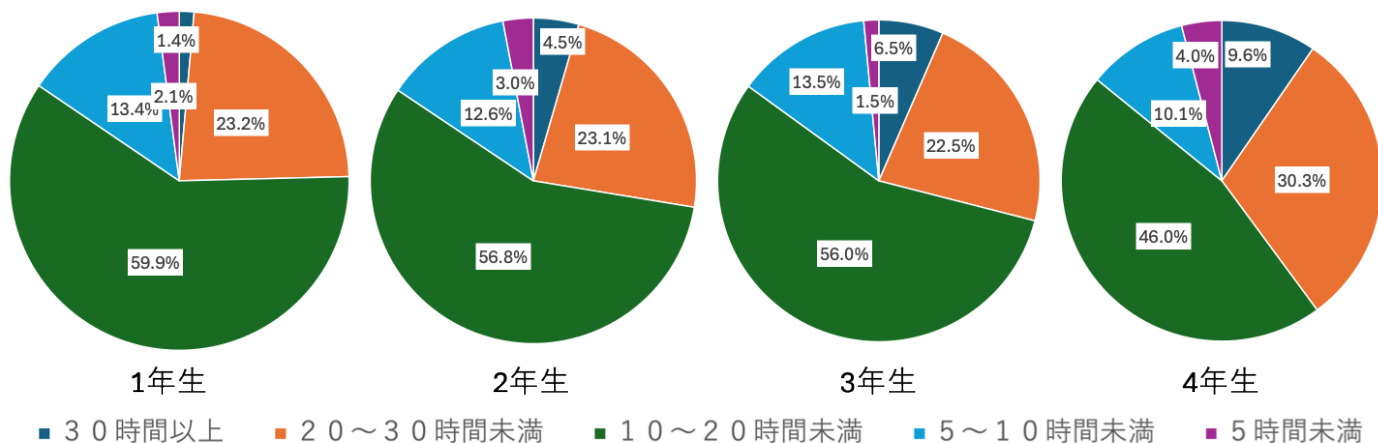
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
30時間以上	3.5%	9	1.7%	2	8.8%	8	11.5%	7
20～30時間未満	20.0%	51	28.1%	34	33.0%	30	21.3%	13
10～20時間未満	51.0%	130	54.5%	66	42.9%	39	47.5%	29
5～10時間未満	21.2%	54	13.2%	16	14.3%	13	14.8%	9
5時間未満	4.3%	11	2.5%	3	1.1%	1	4.9%	3



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
30時間以上	1.4%	4	4.5%	9	6.5%	13	9.6%	19
20～30時間未満	23.2%	66	23.1%	46	22.5%	45	30.3%	60
10～20時間未満	59.9%	170	56.8%	113	56.0%	112	46.0%	91
5～10時間未満	13.4%	38	12.6%	25	13.5%	27	10.1%	20
5時間未満	2.1%	6	3.0%	6	1.5%	3	4.0%	8

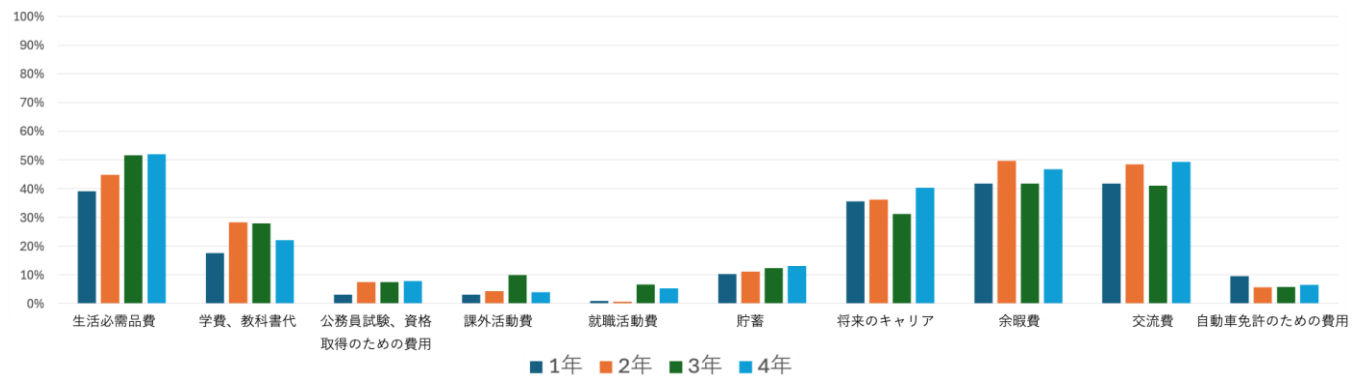


アルバイトをしている学生の労働時間としては、「週5～10時間未満」「10～20時間未満」が中心で、前期・後期とも同様の傾向がみられていた。1年生では「5時間未満」が比較的多く、2～3年生になると「10～20時間未満」が増えていた。4年生では「20時間以上」の長時間勤務をする学生も一定数みられ、就職活動や卒業研究との両立が課題になっていたと考えられた。全体として、学年進行に伴いアルバイト時間が増える傾向がみられていた。

問 18 アルバイトの目的(複数回答)

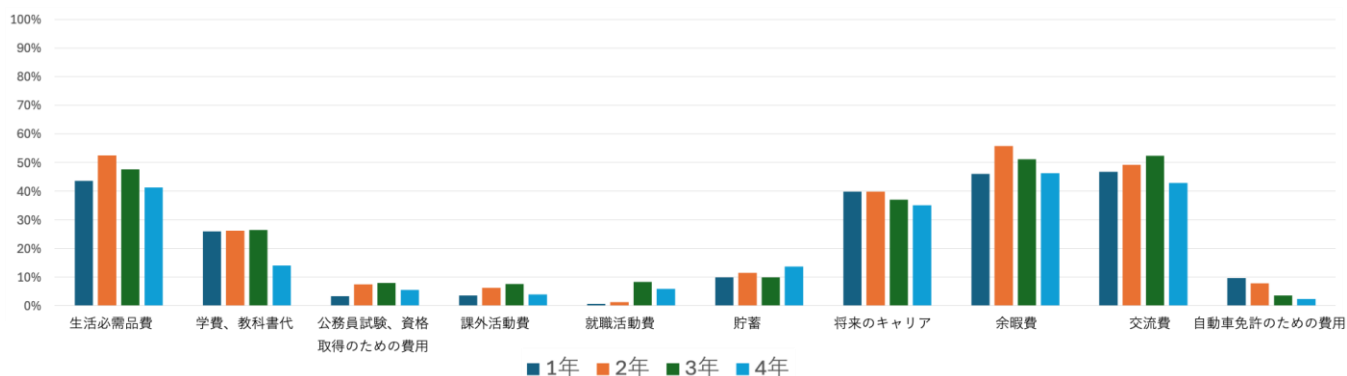
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
家賃、食費、通学費、公共料金などの生活必需品費	39.1%	145	44.8%	73	51.6%	63	51.9%	40
学費、教科書代	17.5%	65	28.2%	46	27.9%	34	22.1%	17
公務員試験、資格取得のための費用	3.0%	11	7.4%	12	7.4%	9	7.8%	6
課外活動費	3.0%	11	4.3%	7	9.8%	12	3.9%	3
就職活動費	0.8%	3	0.6%	1	6.6%	8	5.2%	4
将来のキャリア	10.2%	38	11.0%	18	12.3%	15	13.0%	10
貯蓄	35.6%	132	36.2%	59	31.1%	38	40.3%	31
趣味、遊び、ゲームの課金などの余暇費	41.8%	155	49.7%	81	41.8%	51	46.8%	36
友人や恋人との食事、遊びなどの交流費	41.8%	155	48.5%	79	41.0%	50	49.4%	38
自動車免許のための費用	9.4%	35	5.5%	9	5.7%	7	6.5%	5



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
家賃、食費、通学費、公共料金などの生活必需品費	43.6%	163	52.5%	128	47.6%	121	41.2%	106
学費、教科書代	25.9%	97	26.2%	64	26.4%	67	14.0%	36
公務員試験、資格取得のための費用	3.2%	12	7.4%	18	7.9%	20	5.4%	14
課外活動費	3.5%	13	6.1%	15	7.5%	19	3.9%	10
就職活動費	0.5%	2	1.2%	3	8.3%	21	5.8%	15
将来のキャリア	9.9%	37	11.5%	28	9.8%	25	13.6%	35
貯蓄	39.8%	149	39.8%	97	37.0%	94	35.0%	90
趣味、遊び、ゲームの課金などの余暇費	46.0%	172	55.7%	136	51.2%	130	46.3%	119
友人や恋人との食事、遊びなどの交流費	46.8%	175	49.2%	120	52.4%	133	42.8%	110
自動車免許のための費用	9.6%	36	7.8%	19	3.5%	9	2.3%	6

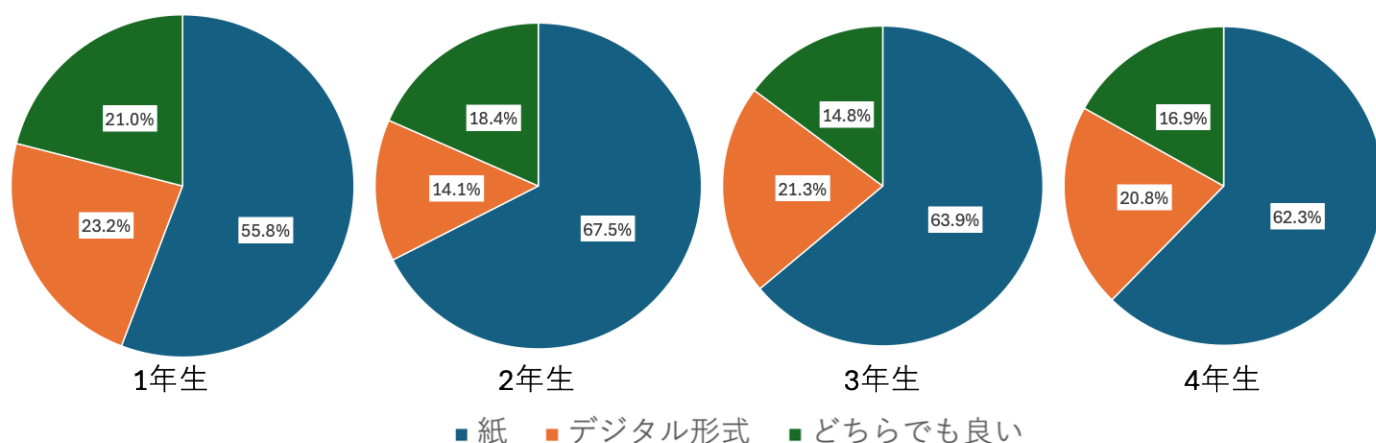


アルバイトの主な理由は、「生活費や学費の補助」「趣味・娯楽のための費用」「貯金のため」であり、前期・後期とも大きくは変わらなかった。1年生では「趣味・遊びのため」の回答が目立ち、学年が上がるにつれて「生活費・学費」「将来のための貯蓄」など現実的な理由が増えていた。3・4年生では、就職活動や社会経験を意識して働いている学生もあり、アルバイトが単なる収入源だけでなく、経験獲得の場としても位置づけられていた。

問 19 好ましい資料の形式

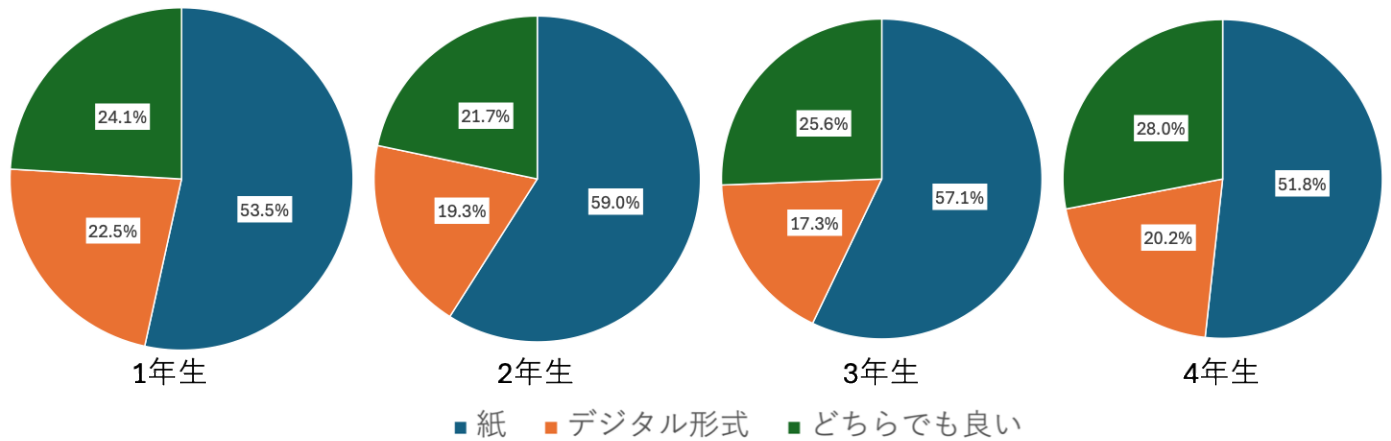
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
紙	55.8%	207	67.5%	110	63.9%	78	62.3%	48
デジタル形式	23.2%	86	14.1%	23	21.3%	26	20.8%	16
どちらでも良い	21.0%	78	18.4%	30	14.8%	18	16.9%	13



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
紙	53.5%	200	59.0%	144	57.1%	145	51.8%	133
デジタル形式	22.5%	84	19.3%	47	17.3%	44	20.2%	52
どちらでも良い	24.1%	90	21.7%	53	25.6%	65	28.0%	72



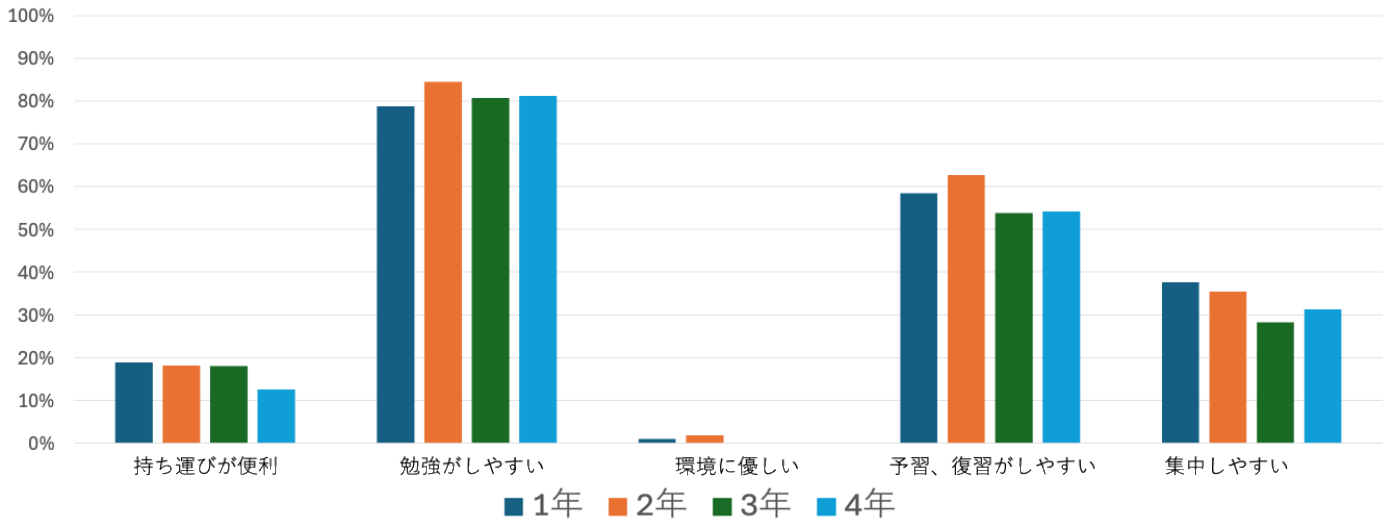
好ましい資料形式としては、前期・後期とも「紙の資料」を選ぶ学生が多数を占めていた。一方で、「紙でも電子でもよい」とする回答も一定数あり、特に3・4年生でその割合がやや高かった。純粋に「電子のみ」を好む学生は少数にとどまっていた。学年別には大きな差はないものの、上級生ほど学修スタイルに応じて紙・電子を柔軟に使い分ける志向がみられていた。

問 20 好ましい資料の形式の理由(複数回答)

[紙が好ましい]

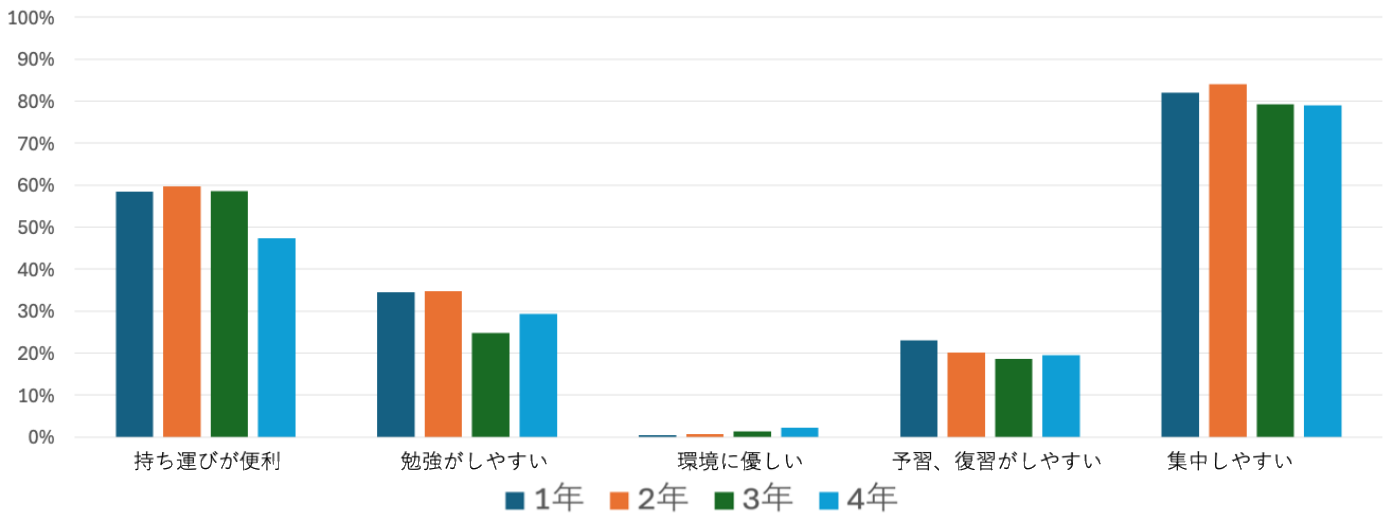
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
持ち運びが便利	18.8%	39	18.2%	20	17.9%	14	12.5%	6
勉強がしやすい	78.7%	163	84.5%	93	80.8%	63	81.3%	39
環境に優しい	1.0%	2	1.8%	2	0.0%	0	0.0%	0
予習、復習がしやすい	58.5%	121	62.7%	69	53.8%	42	54.2%	26
集中しやすい	37.7%	78	35.5%	39	28.2%	22	31.3%	15



[後期]

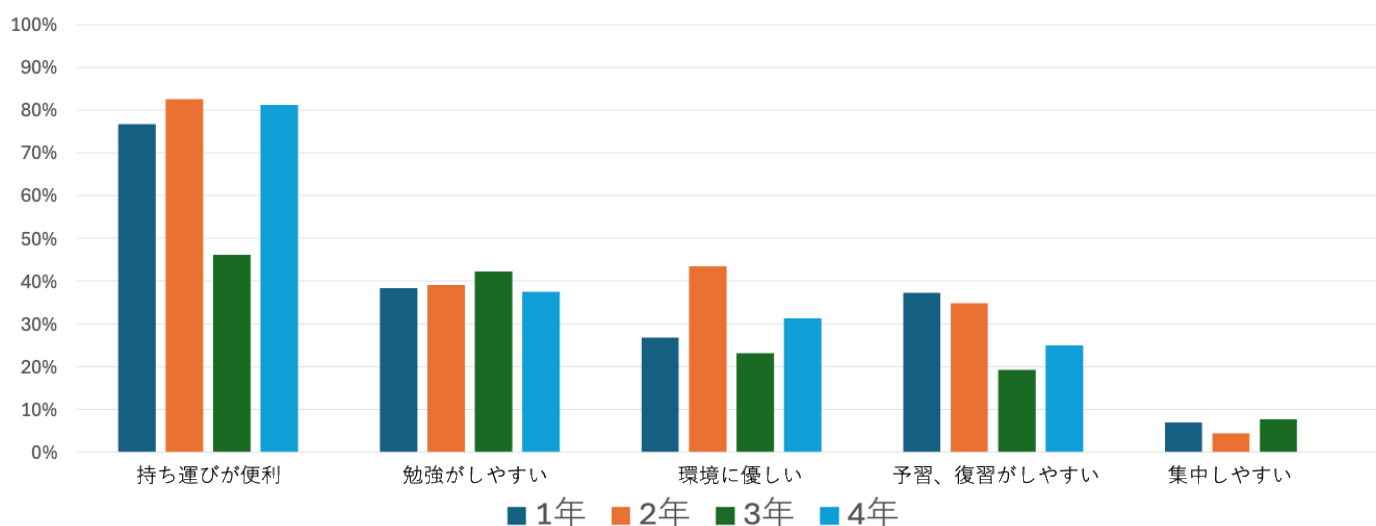
	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
持ち運びが便利	58.5%	117	59.7%	86	58.6%	85	47.4%	63
勉強がしやすい	34.5%	69	34.7%	50	24.8%	36	29.3%	39
環境に優しい	0.5%	1	0.7%	1	1.4%	2	2.3%	3
予習、復習がしやすい	23.0%	46	20.1%	29	18.6%	27	19.5%	26
集中しやすい	82.0%	164	84.0%	121	79.3%	115	78.9%	105



[デジタル形式が好ましい]

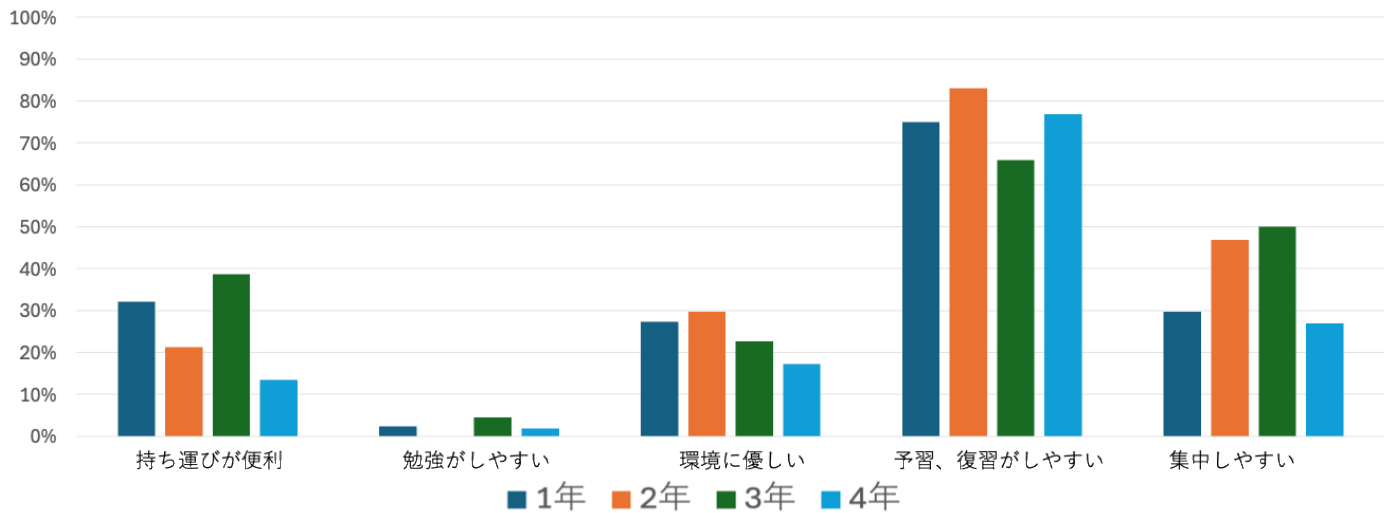
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
持ち運びが便利	76.7%	66	82.6%	19	46.2%	12	81.3%	13
勉強がしやすい	38.4%	33	39.1%	9	42.3%	11	37.5%	6
環境に優しい	26.7%	23	43.5%	10	23.1%	6	31.3%	5
予習、復習がしやすい	37.2%	32	34.8%	8	19.2%	5	25.0%	4
集中しやすい	7.0%	6	4.3%	1	7.7%	2	0.0%	0



[後期]

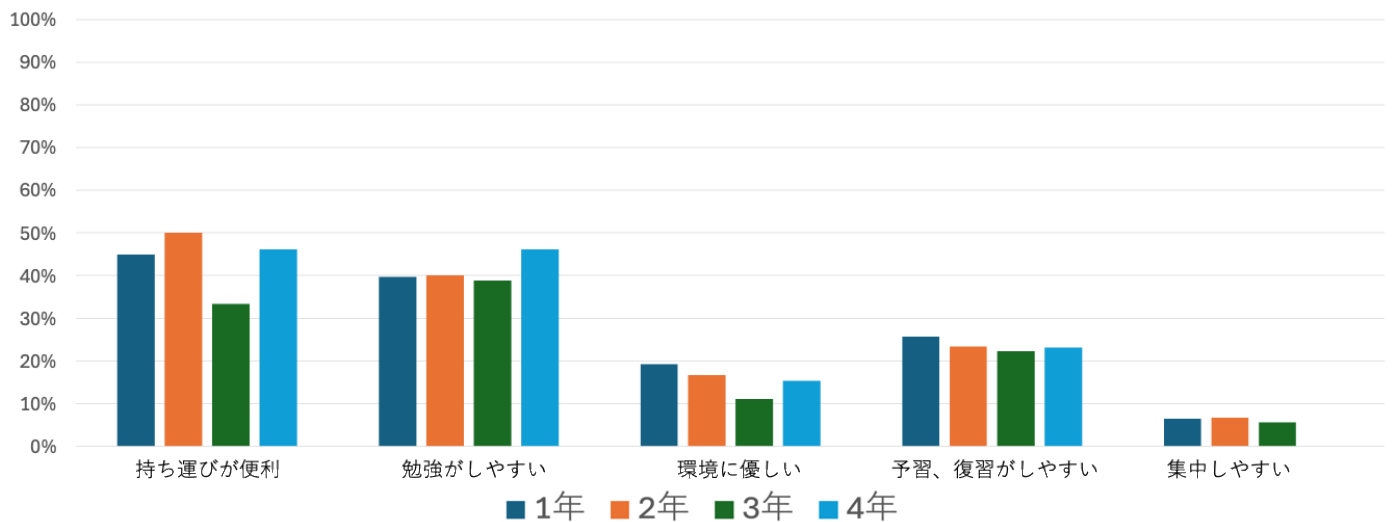
	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
持ち運びが便利	32.1%	27	21.3%	10	38.6%	17	13.5%	7
勉強がしやすい	2.4%	2	0.0%	0	4.5%	2	1.9%	1
環境に優しい	27.4%	23	29.8%	14	22.7%	10	17.3%	9
予習、復習がしやすい	75.0%	63	83.0%	39	65.9%	29	76.9%	40
集中しやすい	29.8%	25	46.8%	22	50.0%	22	26.9%	14



[どちらでも良い]

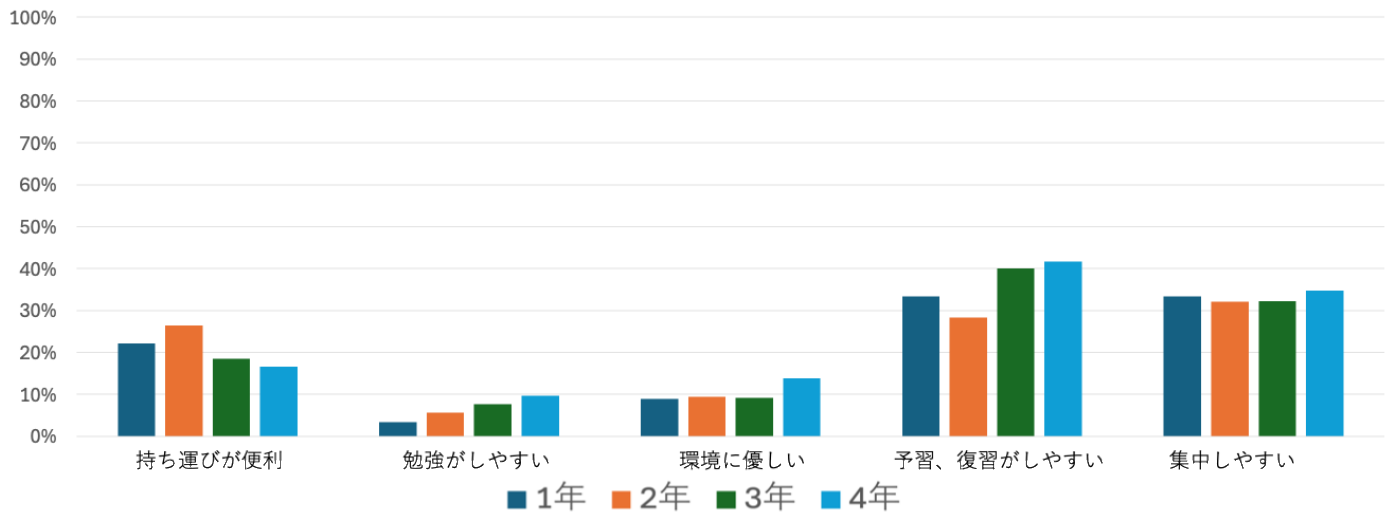
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
持ち運びが便利	44.9%	35	50.0%	15	33.3%	6	46.2%	6
勉強がしやすい	39.7%	31	40.0%	12	38.9%	7	46.2%	6
環境に優しい	19.2%	15	16.7%	5	11.1%	2	15.4%	2
予習、復習がしやすい	25.6%	20	23.3%	7	22.2%	4	23.1%	3
集中しやすい	6.4%	5	6.7%	2	5.6%	1	0.0%	0



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
持ち運びが便利	22.2%	20	26.4%	14	18.5%	12	16.7%	12
勉強がしやすい	3.3%	3	5.7%	3	7.7%	5	9.7%	7
環境に優しい	8.9%	8	9.4%	5	9.2%	6	13.9%	10
予習、復習がしやすい	33.3%	30	28.3%	15	40.0%	26	41.7%	30
集中しやすい	33.3%	30	32.1%	17	32.3%	21	34.7%	25

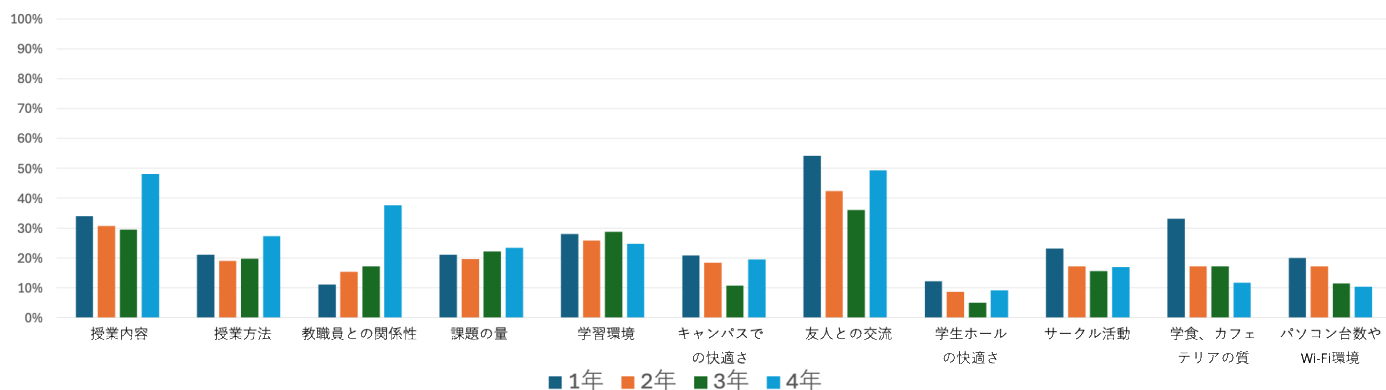


紙を好む理由として、「書き込みができて勉強しやすい」「予習・復習がしやすい」「集中しやすい」といった学習効率に関する回答が多かった。電子資料を支持する学生は、「持ち運びが便利」「環境に優しい」「必要なときにすぐ閲覧できる」といった利便性・環境面を理由として挙げていた。前期・後期とも理由の傾向はほぼ共通しており、1・2年生では「勉強しやすさ」、3・4年生では「持ち運びやすさ」を重視する声が相対的に高かった。

問 21 学生生活で、満足している項目（複数回答可）

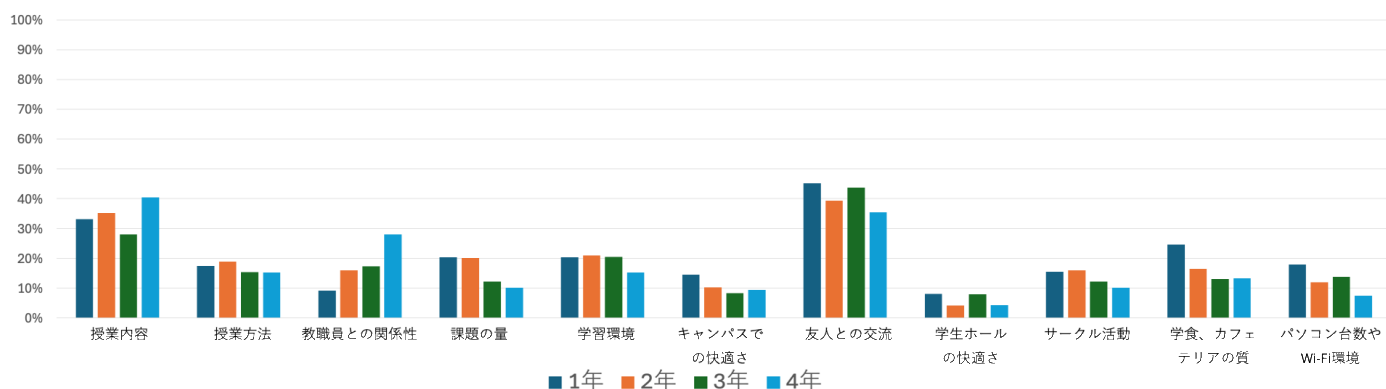
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
授業内容	34.0%	126	30.7%	50	29.5%	36	48.1%	37
授業方法	21.0%	78	19.0%	31	19.7%	24	27.3%	21
教職員との関係性	11.1%	41	15.3%	25	17.2%	21	37.7%	29
課題の量	21.0%	78	19.6%	32	22.1%	27	23.4%	18
学習環境（図書館、コンピュータ室など）	28.0%	104	25.8%	42	28.7%	35	24.7%	19
キャンパスでの快適さ	20.8%	77	18.4%	30	10.7%	13	19.5%	15
友人との交流	54.2%	201	42.3%	69	36.1%	44	49.4%	38
学生ホールの快適さ	12.1%	45	8.6%	14	4.9%	6	9.1%	7
サークル活動	23.2%	86	17.2%	28	15.6%	19	16.9%	13
学食、カフェテリアの質	33.2%	123	17.2%	28	17.2%	21	11.7%	9
パソコン台数やWi-Fi環境	19.9%	74	17.2%	28	11.5%	14	10.4%	8



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
授業内容	33.2%	124	35.2%	86	28.0%	71	40.5%	104
授業方法	17.4%	65	18.9%	46	15.4%	39	15.2%	39
教職員との関係性	9.1%	34	16.0%	39	17.3%	44	28.0%	72
課題の量	20.3%	76	20.1%	49	12.2%	31	10.1%	26
学習環境 (図書館、コンピュータ室など)	20.3%	76	20.9%	51	20.5%	52	15.2%	39
キャンパスでの快適さ	14.4%	54	10.2%	25	8.3%	21	9.3%	24
友人との交流	45.2%	169	39.3%	96	43.7%	111	35.4%	91
学生ホールの快適さ	8.0%	30	4.1%	10	7.9%	20	4.3%	11
サークル活動	15.5%	58	16.0%	39	12.2%	31	10.1%	26
学食、カフェテリアの質	24.6%	92	16.4%	40	13.0%	33	13.2%	34
パソコン台数やWi-Fi環境	17.9%	67	11.9%	29	13.8%	35	7.4%	19

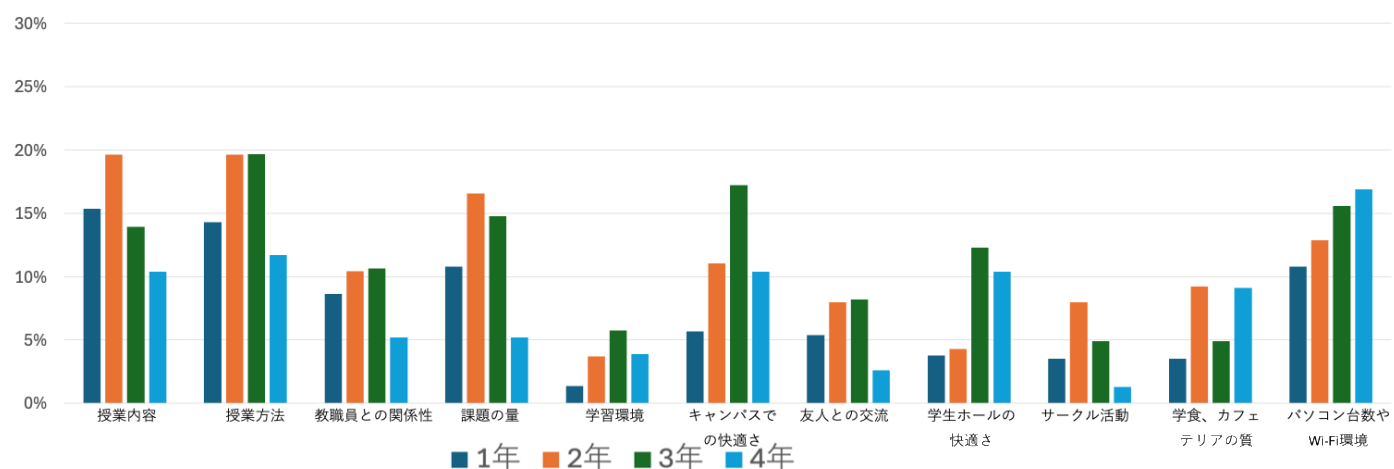


学生生活の満足項目としては、「友人との交流」「授業内容」「授業方法」「教職員との関係性」などが多く挙げられていた。1・2年生では、特に友人関係やキャンパスの雰囲気への満足度が高く、大学生活そのものを楽しんでいた様子がみられていた。3・4年生では、授業内容や学習環境への満足度が比較的高く、一方でサークルや学生ホールなどへの関心はやや低下していた。前期・後期で大きな変化はなく、人的関係と授業への満足が学生生活の支えになっていたと考えられた。

問 22 学生生活で、不満足している項目（複数回答可）

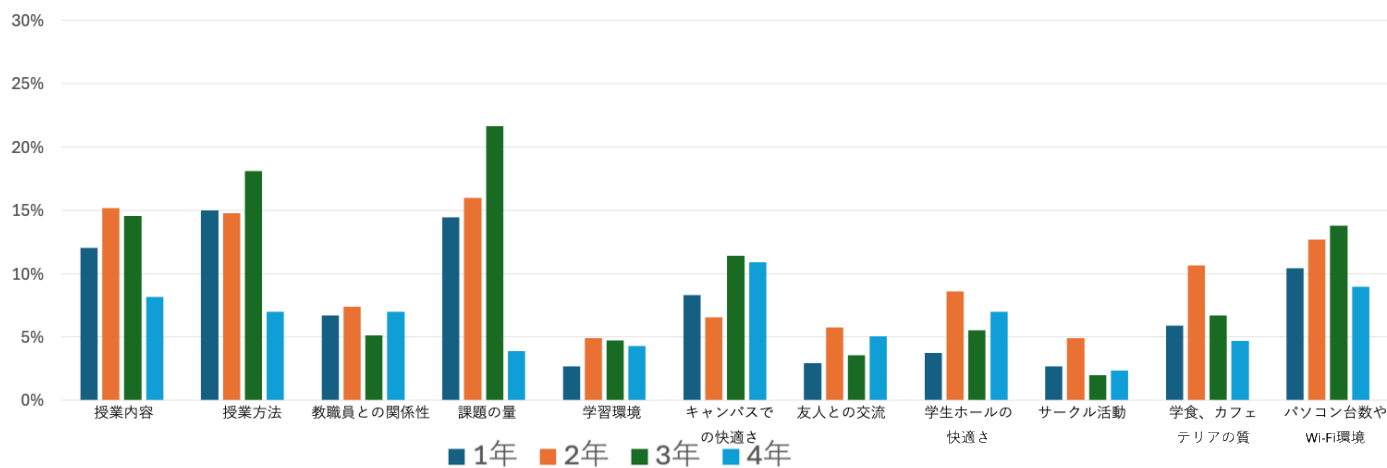
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
授業内容	15.4%	57	19.6%	32	13.9%	17	10.4%	8
授業方法	14.3%	53	19.6%	32	19.7%	24	11.7%	9
教職員との関係性	8.6%	32	10.4%	17	10.7%	13	5.2%	4
課題の量	10.8%	40	16.6%	27	14.8%	18	5.2%	4
学習環境	1.3%	5	3.7%	6	5.7%	7	3.9%	3
キャンパスでの快適さ	5.7%	21	11.0%	18	17.2%	21	10.4%	8
友人との交流	5.4%	20	8.0%	13	8.2%	10	2.6%	2
学生ホールの快適さ	3.8%	14	4.3%	7	12.3%	15	10.4%	8
サークル活動	3.5%	13	8.0%	13	4.9%	6	1.3%	1
学食、カフェテリアの質	3.5%	13	9.2%	15	4.9%	6	9.1%	7
パソコン台数やWi-Fi環境	10.8%	40	12.9%	21	15.6%	19	16.9%	13



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
授業内容	12.0%	45	15.2%	37	14.6%	37	8.2%	21
授業方法	15.0%	56	14.8%	36	18.1%	46	7.0%	18
教職員との関係性	6.7%	25	7.4%	18	5.1%	13	7.0%	18
課題の量	14.4%	54	16.0%	39	21.7%	55	3.9%	10
学習環境	2.7%	10	4.9%	12	4.7%	12	4.3%	11
キャンパスでの快適さ	8.3%	31	6.6%	16	11.4%	29	10.9%	28
友人との交流	2.9%	11	5.7%	14	3.5%	9	5.1%	13
学生ホールの快適さ	3.7%	14	8.6%	21	5.5%	14	7.0%	18
サークル活動	2.7%	10	4.9%	12	2.0%	5	2.3%	6
学食、カフェテリアの質	5.9%	22	10.7%	26	6.7%	17	4.7%	12
パソコン台数やWi-Fi環境	10.4%	39	12.7%	31	13.8%	35	8.9%	23

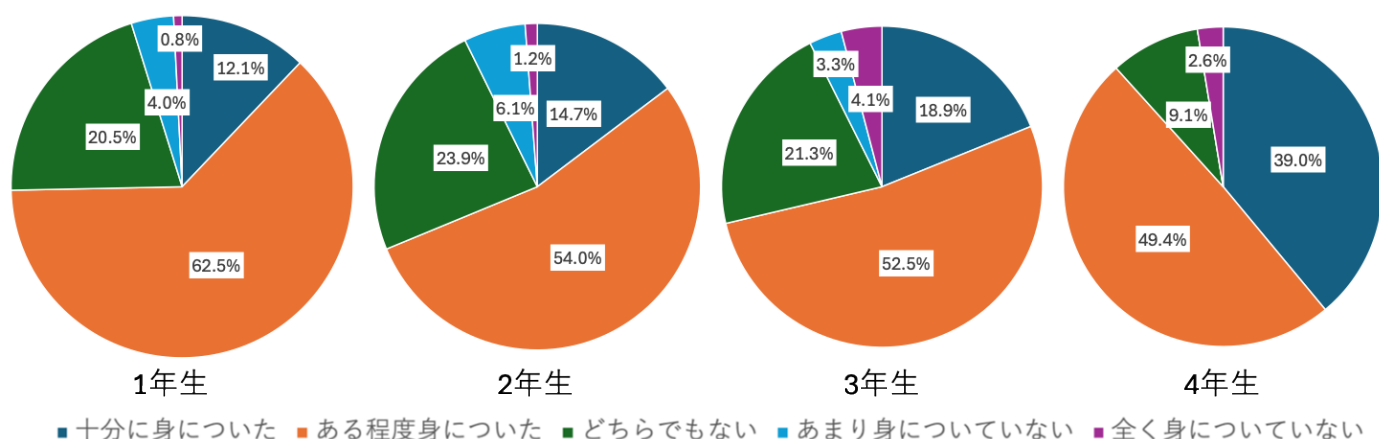


不満足な項目としては、「パソコン台数や Wi-Fi 環境」「学食・カフェテリアの質」「課題の量」「学習環境（図書館・PC 室など）」が比較的高い割合で挙げられていた。特に 1 年生では「課題の量」「パソコン・Wi-Fi 環境」への不満が目立ち、4 年生では「授業内容」「授業方法」への不満もやや高かった。前期・後期とも、友人関係や教職員との関係への不満は相対的に低かった一方、設備やサービス面での改善ニーズが継続していた。

問 23 一般教養について身についた程度

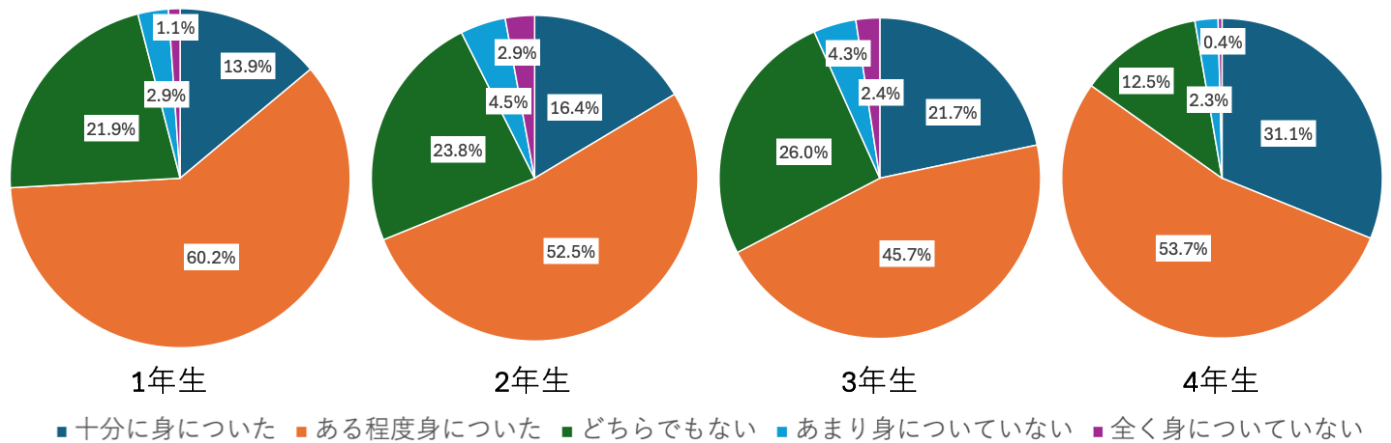
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
十分に身についた	12.1%	45	14.7%	24	18.9%	23	39.0%	30
ある程度身についた	62.5%	232	54.0%	88	52.5%	64	49.4%	38
どちらでもない	20.5%	76	23.9%	39	21.3%	26	9.1%	7
あまり身につけていない	4.0%	15	6.1%	10	3.3%	4	0.0%	0
全く身につけていない	0.8%	3	1.2%	2	4.1%	5	2.6%	2



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
十分に身についた	13.9%	52	16.4%	40	21.7%	55	31.1%	80
ある程度身についた	60.2%	225	52.5%	128	45.7%	116	53.7%	138
どちらでもない	21.9%	82	23.8%	58	26.0%	66	12.5%	32
あまり身につけていない	2.9%	11	4.5%	11	4.3%	11	2.3%	6
全く身につけていない	1.1%	4	2.9%	7	2.4%	6	0.4%	1

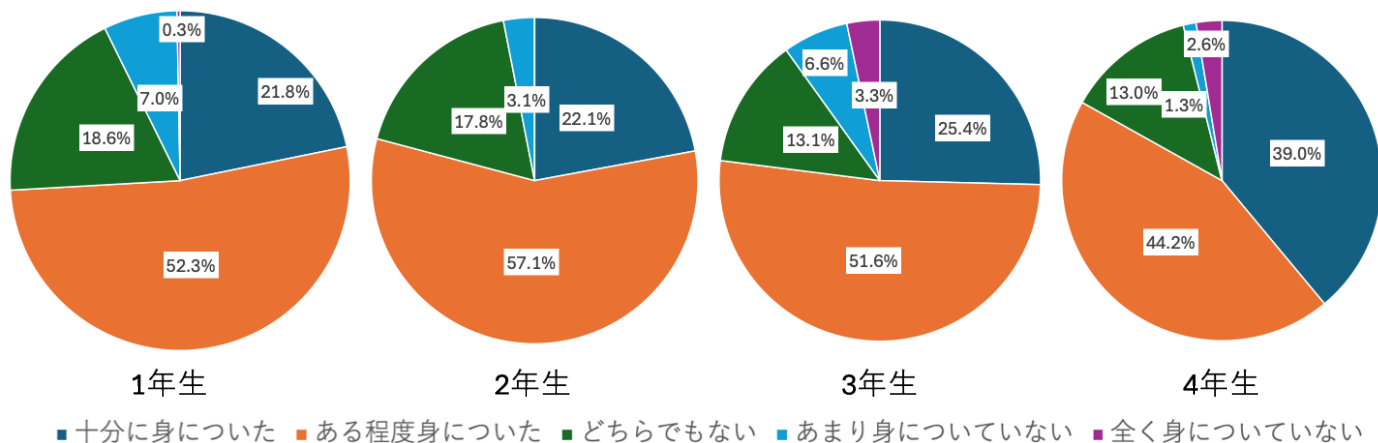


前期・後期とも、「ある程度身についた」と回答した学生が各学年で半数以上を占め、「十分に身についた」と合わせるとポジティブな評価が多数派だった。4年生では「十分に身についた」の割合が約4割と特に高く、学年が上がるほど一般教養の蓄積を実感していた学生が多かった。一方で「あまり身につけていない」「全く身につけていない」と答えた学生は少数にとどまり、学年を通じて一般教養に関する自己評価は概ね良好だった。

問 24 コミュニケーションスキルについて身についた程度

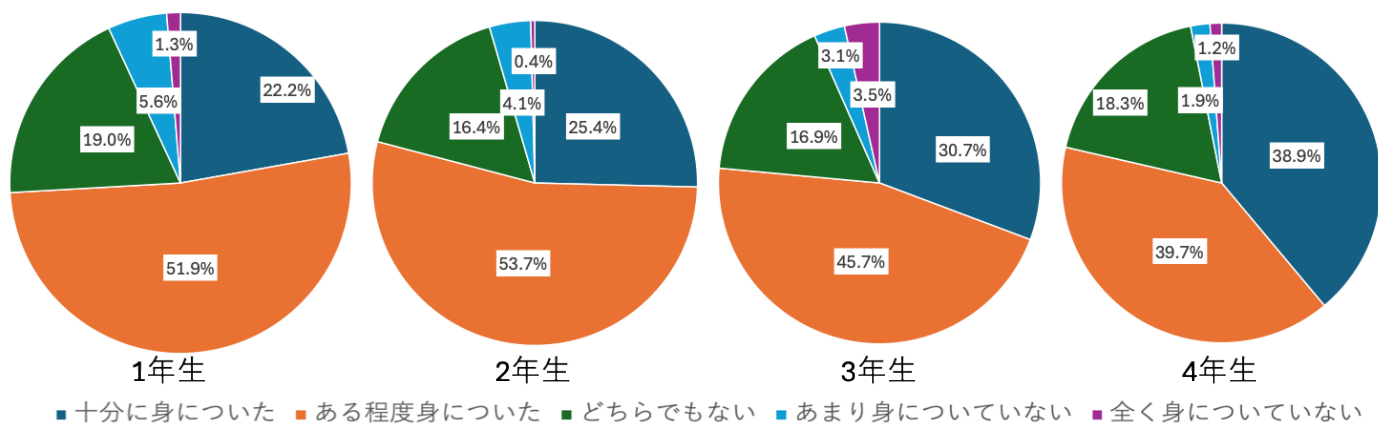
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
十分に身についた	21.8%	81	22.1%	36	25.4%	31	39.0%	30
ある程度身についた	52.3%	194	57.1%	93	51.6%	63	44.2%	34
どちらでもない	18.6%	69	17.8%	29	13.1%	16	13.0%	10
あまり身につけていない	7.0%	26	3.1%	5	6.6%	8	1.3%	1
全く身につけていない	0.3%	1	0.0%	0	3.3%	4	2.6%	2



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
十分に身についた	22.2%	83	25.4%	62	30.7%	78	38.9%	100
ある程度身についた	51.9%	194	53.7%	131	45.7%	116	39.7%	102
どちらでもない	19.0%	71	16.4%	40	16.9%	43	18.3%	47
あまり身につけていない	5.6%	21	4.1%	10	3.1%	8	1.9%	5
全く身につけていない	1.3%	5	0.4%	1	3.5%	9	1.2%	3

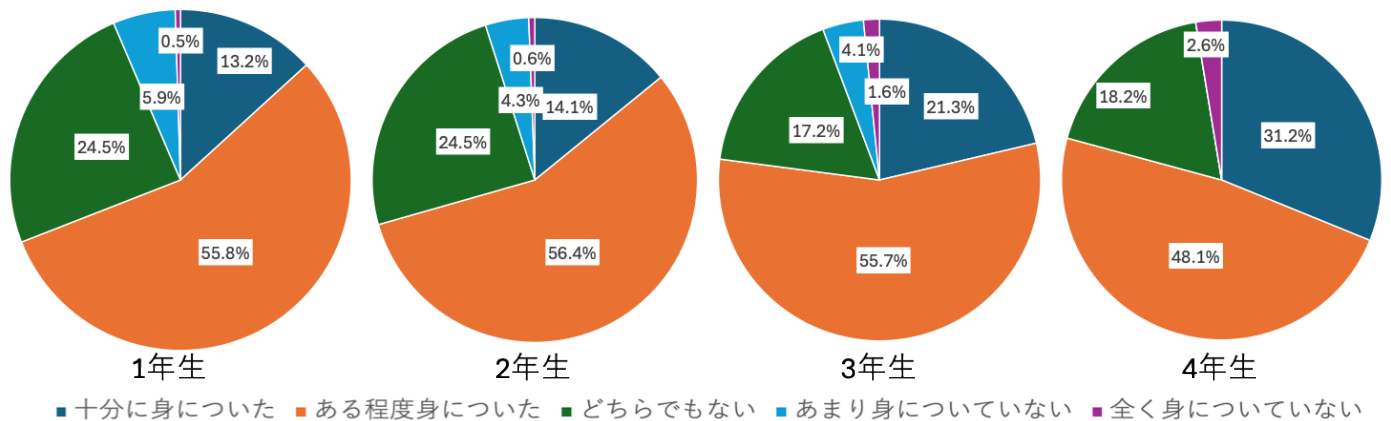


コミュニケーションスキルも、「ある程度身についた」が最多で、「十分に身についた」と併せると半数以上を占めていた。1・2年生よりも3・4年生で肯定的な回答が多く、グループワーク、実習、アルバイト等を通じて対人スキルが高まっていたと考えられた。「どちらでもない」は一定数みられたが、「あまり身につけていない」「全く身につけていない」は少数であり、前期・後期とも、おおむね良好な自己評価が維持されていた。

問 25 課題発見力について身についた程度

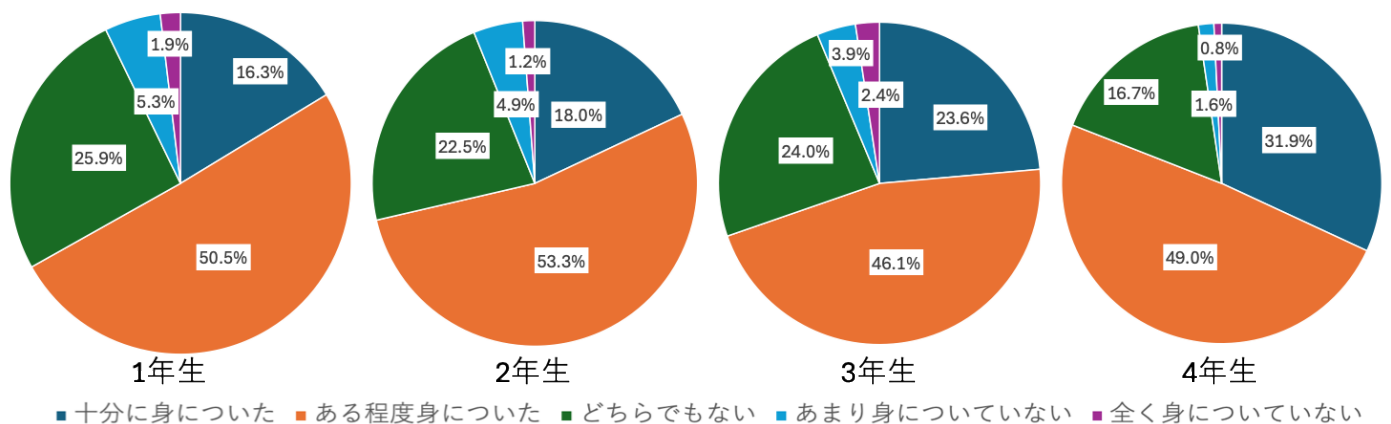
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
十分に身についた	13.2%	49	14.1%	23	21.3%	26	31.2%	24
ある程度身についた	55.8%	207	56.4%	92	55.7%	68	48.1%	37
どちらでもない	24.5%	91	24.5%	40	17.2%	21	18.2%	14
あまり身につけていない	5.9%	22	4.3%	7	4.1%	5	0.0%	0
全く身につけていない	0.5%	2	0.6%	1	1.6%	2	2.6%	2



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
十分に身についた	16.3%	44	18.0%	60	23.6%	61	31.9%	82
ある程度身についた	50.5%	130	53.3%	117	46.1%	189	49.0%	126
どちらでもない	25.9%	55	22.5%	61	24.0%	97	16.7%	43
あまり身につけていない	5.3%	12	4.9%	10	3.9%	20	1.6%	4
全く身につけていない	1.9%	3	1.2%	6	2.4%	7	0.8%	2

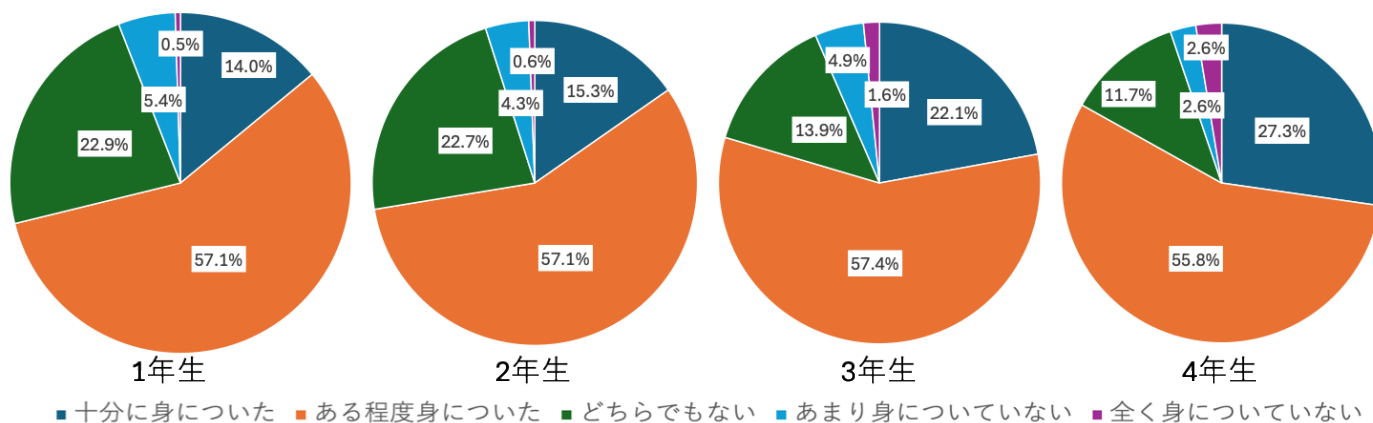


課題発見力については、「ある程度身についた」とする学生が最多であるものの、一般教養やコミュニケーションスキルに比べると「どちらでもない」「あまり身につけていない」の割合がやや高かった。特に1・2年生では、自身の課題発見力を十分とは感じていない学生も一定数いた。一方、3・4年生では「十分に身についた」「ある程度身についた」が増えており、ゼミや実習、卒業研究を通じて課題を見いだす力が高まっていたと考えられた。

問 26 課題解決能力について身についた程度

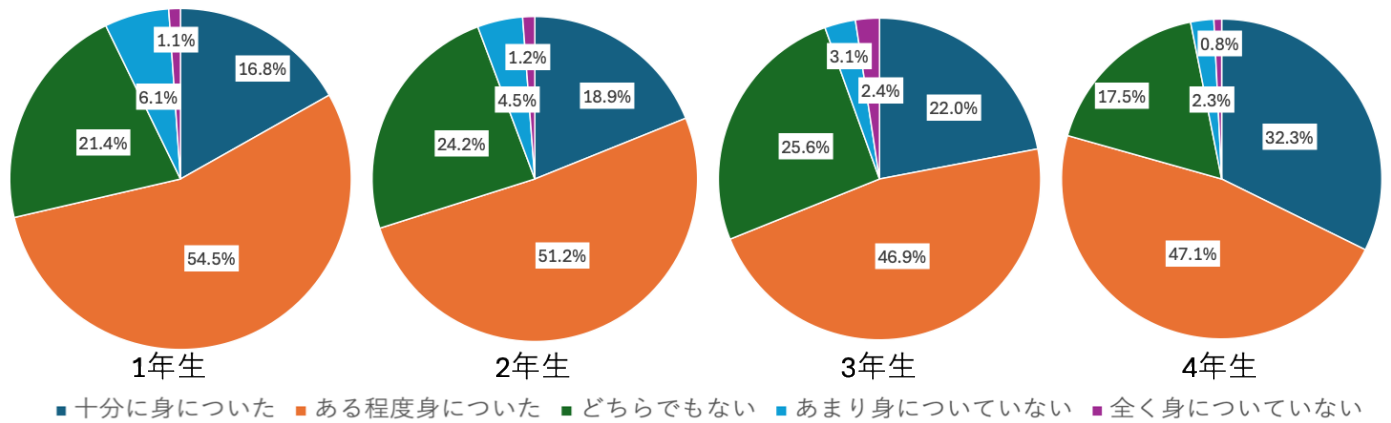
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
十分に身についた	14.0%	52	15.3%	25	22.1%	27	27.3%	21
ある程度身についた	57.1%	212	57.1%	93	57.4%	70	55.8%	43
どちらでもない	22.9%	85	22.7%	37	13.9%	17	11.7%	9
あまり身につけていない	5.4%	20	4.3%	7	4.9%	6	2.6%	2
全く身につけていない	0.5%	2	0.6%	1	1.6%	2	2.6%	2



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
十分に身についた	16.8%	63	18.9%	46	22.0%	56	32.3%	83
ある程度身についた	54.5%	204	51.2%	125	46.9%	119	47.1%	121
どちらでもない	21.4%	80	24.2%	59	25.6%	65	17.5%	45
あまり身につけていない	6.1%	23	4.5%	11	3.1%	8	2.3%	6
全く身につけていない	1.1%	4	1.2%	3	2.4%	6	0.8%	2

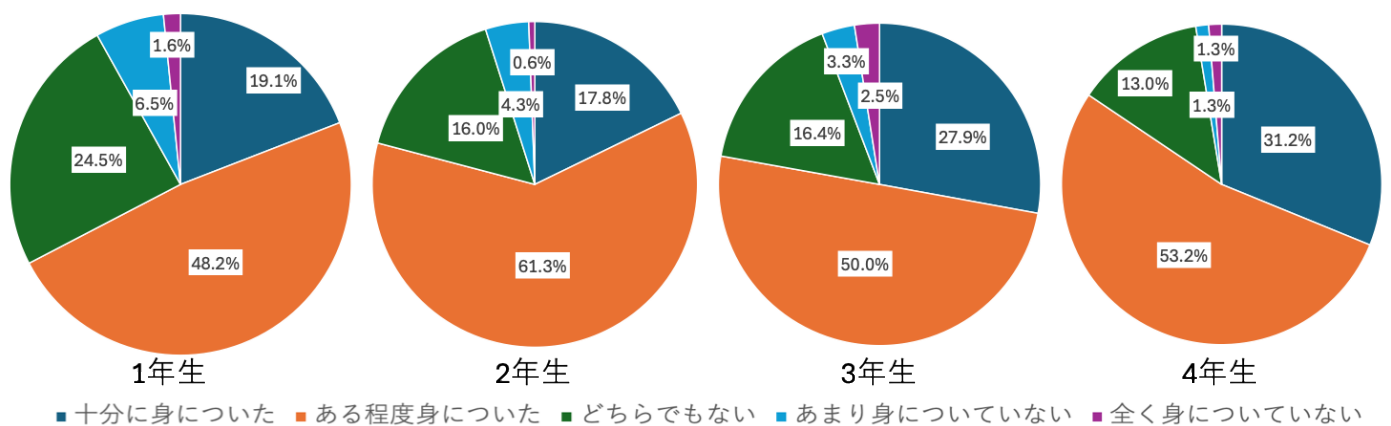


課題解決能力も、「ある程度身についた」が中心で、前期・後期ともポジティブな評価が多数を占めていた。ただし、課題発見力と同様に「どちらでもない」や「十分に身についた」との回答が分かれており、学生による自己評価のばらつきがみられていた。学年別には、3・4年生で「十分に身についた」の割合が高まり、実習・グループワーク・卒業研究などを通じて具体的な問題解決経験を積んでいたことがうかがわれた。

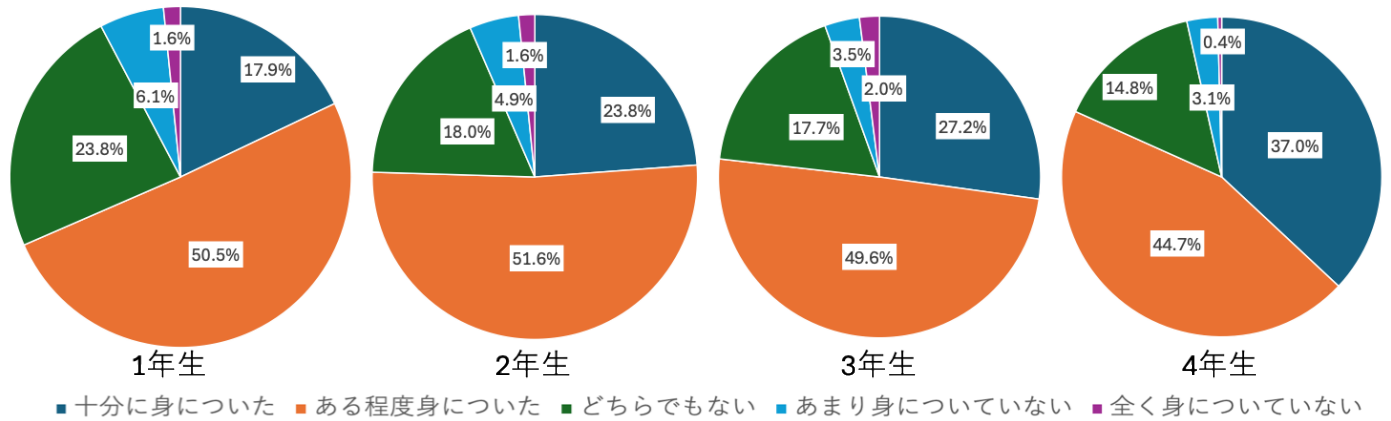
問 27 自ら学ぶ態度について身についた程度

[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
十分に身についた	19.1%	71	17.8%	29	27.9%	34	31.2%	24
ある程度身についた	48.2%	179	61.3%	100	50.0%	61	53.2%	41
どちらでもない	24.5%	91	16.0%	26	16.4%	20	13.0%	10
あまり身につけていない	6.5%	24	4.3%	7	3.3%	4	1.3%	1
全く身につけていない	1.6%	6	0.6%	1	2.5%	3	1.3%	1



	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
十分に身についた	17.9%	67	23.8%	58	27.2%	69	37.0%	95
ある程度身についた	50.5%	189	51.6%	126	49.6%	126	44.7%	115
どちらでもない	23.8%	89	18.0%	44	17.7%	45	14.8%	38
あまり身につけていない	6.1%	23	4.9%	12	3.5%	9	3.1%	8
全く身につけていない	1.6%	6	1.6%	4	2.0%	5	0.4%	1

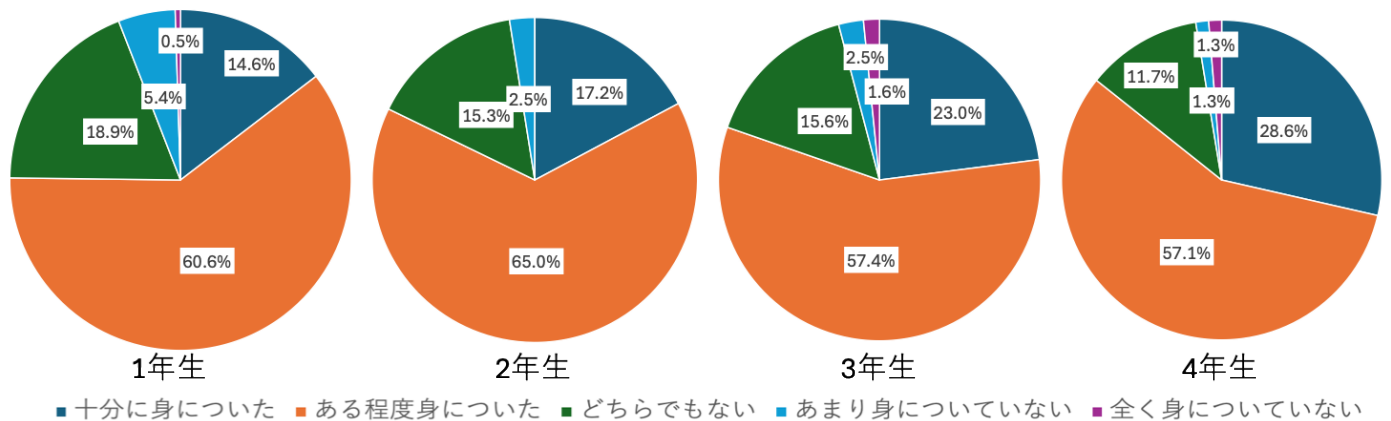


自ら学ぶ態度については、「ある程度身についた」との回答が最も多く、特に3・4年生でポジティブな評価が高かった。「十分に身についた」と答えた割合も上級生ほど高まり、学年進行とともに主体的学習への自覚が育っていたと考えられた。一方、1・2年生では「どちらでもない」や「あまり身につけていない」も一定数あり、大学での学び方にまだ試行錯誤していた様子がみられていた。前期・後期で大きな傾向の変化はなかった。

問 28 専門知識について身についた程度

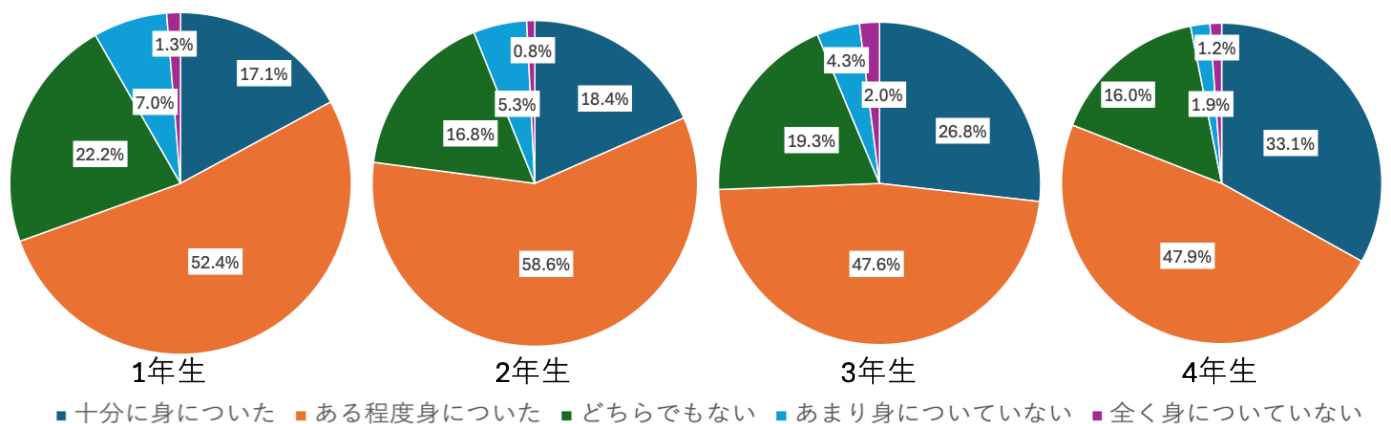
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
十分に身についた	14.6%	54	17.2%	28	23.0%	28	28.6%	22
ある程度身についた	60.6%	225	65.0%	106	57.4%	70	57.1%	44
どちらでもない	18.9%	70	15.3%	25	15.6%	19	11.7%	9
あまり身につけていない	5.4%	20	2.5%	4	2.5%	3	1.3%	1
全く身につけていない	0.5%	2	0.0%	0	1.6%	2	1.3%	1



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
十分に身についた	17.1%	64	18.4%	45	26.8%	68	33.1%	85
ある程度身についた	52.4%	196	58.6%	143	47.6%	121	47.9%	123
どちらでもない	22.2%	83	16.8%	41	19.3%	49	16.0%	41
あまり身につけていない	7.0%	26	5.3%	13	4.3%	11	1.9%	5
全く身につけていない	1.3%	5	0.8%	2	2.0%	5	1.2%	3

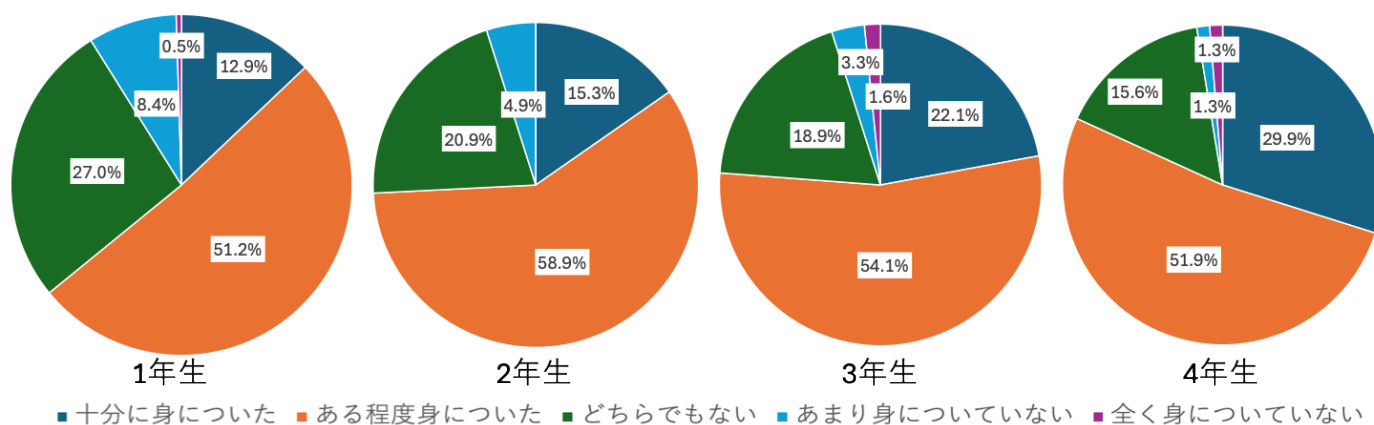


専門知識については、1～3年生では「ある程度身についた」が中心で、「どちらでもない」も一定割合あったのに対し、4年生では「十分に身についた」が大きく増えていた。前期・後期とも、学年が上がるにつれポジティブな回答が増え、カリキュラムの進行に伴って専門科目が積み重なっていたことがうかがわれた。「あまり身につけていない」「全く身につけていない」は全学年で少数にとどまり、専門知識に関する自己評価は概して良好だった。

問 29 専門スキルについて身についた程度

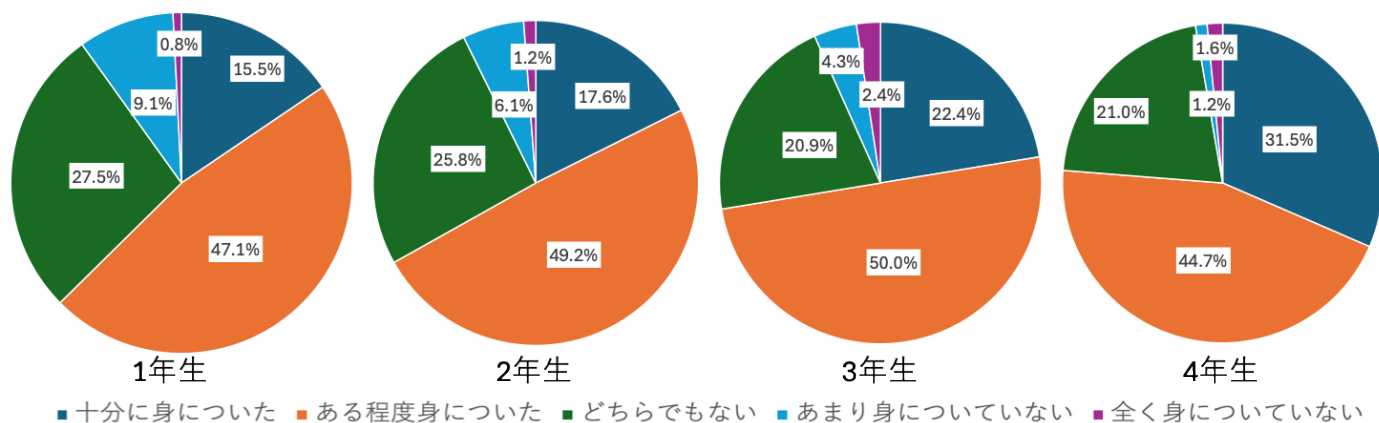
[前期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
十分に身についた	12.9%	48	15.3%	25	22.1%	27	29.9%	23
ある程度身についた	51.2%	190	58.9%	96	54.1%	66	51.9%	40
どちらでもない	27.0%	100	20.9%	34	18.9%	23	15.6%	12
あまり身につけていない	8.4%	31	4.9%	8	3.3%	4	1.3%	1
全く身につけていない	0.5%	2	0.0%	0	1.6%	2	1.3%	1



[後期]

	1年	回答者数	2年	回答者数	3年	回答者数	4年	回答者数
十分に身についた	15.5%	58	17.6%	43	22.4%	57	31.5%	81
ある程度身についた	47.1%	176	49.2%	120	50.0%	127	44.7%	115
どちらでもない	27.5%	103	25.8%	63	20.9%	53	21.0%	54
あまり身につけていない	9.1%	34	6.1%	15	4.3%	11	1.2%	3
全く身につけていない	0.8%	3	1.2%	3	2.4%	6	1.6%	4



専門スキルに関しても、「ある程度身についた」との回答が中心であったが、専門知識と比べると「どちらでもない」「あまり身につけていない」の割合がやや高かった。特に1・2年生では、具体的な技能を十分に習得したという実感はまだ弱い傾向がみられていた。一方で4年生では、「十分に身についた」と答える学生が一定数おり、実習や演習科目を通じた経験の蓄積がスキルの獲得感につながっていたと考えられた。前期・後期で大きな差はみられなかった。